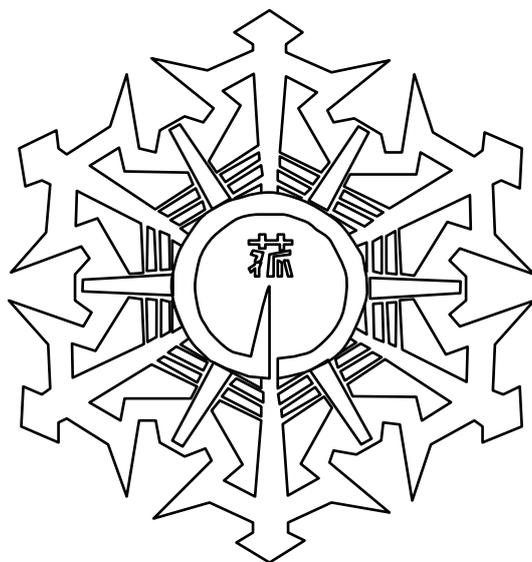


消防年報



三重県
菰野町消防本部
(令和3年版)

はじめに

本書は、菰野町における消防情勢と消防諸般の状況を記録し、将来の消防行政運営上の指針とするために編集しました。

統計資料は特に記載のあるものを除き、令和2年中をもって表しました。

令和3年8月

三重県 こも の ちょう 菰野町消防本部

目 次

消 防 情 勢

菰野町の概要、位置図	1
菰野消防のあゆみ	2
歴代消防長	5
令和2年中の主な行事	6
消防本部、消防署の組織、機構及び事務分掌	7
消防予算	8
一般会計予算に占める消防費の割合	
消防費に対する人口、世帯当り額	
消防力の整備指針と現有消防力の比較	9
職員階級別、所属別配置状況	10
職員階級別勤続年数状況	
職員階級別年齢状況	11
消防本部（署）庁舎の概要	12
現有消防車両	
通信施設状況	13
消防水利状況	14
各種研修実施状況	
外部研修等派遣状況	15
応急手当普及啓発活動実施状況	16
自主防災組織	17
緊急避難所	18
風水害時における緊急避難所を補完する施設	19
収容避難所	
収容避難所を補完する施設	20

消 防 団

菰野町消防団の沿革	21
歴代消防団長（合併以降）	
消防団の機構、団員数	22
年齢別、階級別消防団員数	23
在職年数別消防団員数	
消防団員報酬	
消防団員各種手当	

消防団員職業別構成数	24
消防団消防車両配置状況	

予 防

防火対象物現況	25
用途別建築同意状況	26
工事別建築同意状況	27
過去5年間の建築同意状況	
危険物施設現況	28
危険物施設許可認可状況	
各種届出処理状況	29
消防用設備等設置検査実施状況	
広報、啓発活動状況	30

火 災

火災事案発生状況	31
過去5年間の火災事案発生状況	
地区別火災発生状況	32
月別火災発生状況	
曜日別火災発生状況	
時間別火災発生状況	33
火災出動状況	
火災出動区分詳細	
火災発生状況及び出火原因状況	34
絵で見る火災原因	36

救 急、救 助

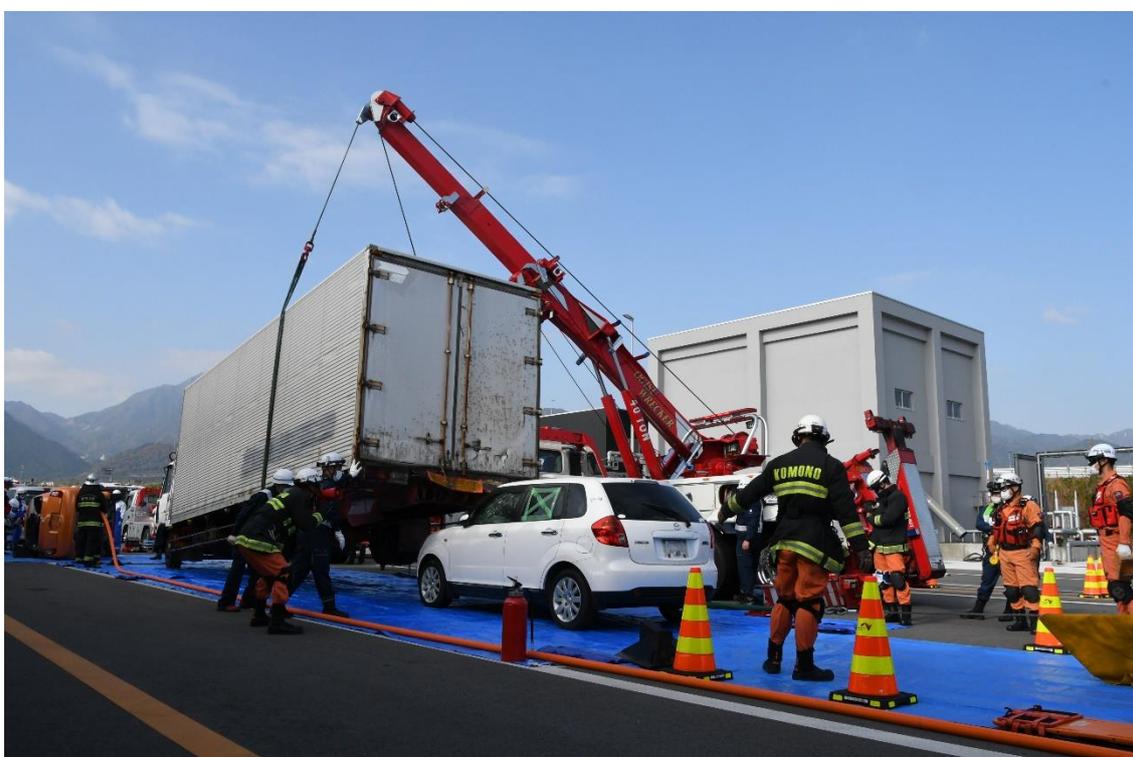
救急事案発生状況	37
過去5年間の救急事案発生状況	
事故種別、救急出動件数・搬送人員	38
現場到着所要時間別救急出動件数	
収容所要時間別救急搬送人員	

年齢区分別救急搬送人員	39
傷病程度別救急搬送人員	
時間別救急出動件数	
地区別救急出動状況	40
月別救急出動状況	
曜日別救急出動状況	
年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員	41
事故種別、年齢区分別救急搬送人員	
事故種別、傷病程度別救急搬送人員	
事故種別、時間別救急出動件数	42
事故種別、応急処置件数	
事故種別、医療機関別救急搬送人員	43
救助事案発生状況	44
過去5年間の救助事案発生状況	
事故種別、救助出動件数・救助人員	45
事故種別、救助出動人員	
事故種別、救助出動車両	
救助出動状況	46
月別山岳救助出動状況	52
曜日別山岳救助出動状況	
時間別山岳救助出動状況	

気象、通信、その他

月別気象状況と火災件数	53
月別気温概況	54
月別降水量概況	
月別湿度概況	55
月別風速概況	
気象通報受信状況	56
三重北消防指令センター119番通報受付取扱状況	57
菰野町消防本部管内月別119番通報受付取扱状況	
菰野町消防本部管内回線別119番通報受付取扱状況	
災害件数の推移	58

消防情勢



高速自動車道における多重衝突などの救出救護事案及び特殊火災事案に対し、近隣の消防本部や関係機関との連携強化及び災害活動能力の向上を目的に合同訓練を実施しました。

三重県内高速道路消防連絡協議会総合消防訓練
令和2年11月18日
於：新名神高速道路菟野 IC 作業ヤード

菰野町の概要、位置図

菰野町は三重県の北西部に位置し、西は鈴鹿山脈を境に滋賀県と北はいなべ市、東と南は四日市市に隣接している。

町の約3分の1を占める山岳地帯は鈴鹿国定公園に指定されており、御在所岳、釈迦ヶ岳、鎌ヶ岳などは、多くのアルピニストに親しまれ、近年では登山ブームにより老若男女を問わず人気を集めるスポットである。

さらに霊山幽谷に出で湯を持つ湯の山温泉や雄大な眺めとスリルに富んだ御在所ロープウェイ、景勝を織りなす溪谷の数々や緑豊かな丘陵地など、菰野町は鈴鹿国定公園の玄関口としてふさわしい景観をもっている。

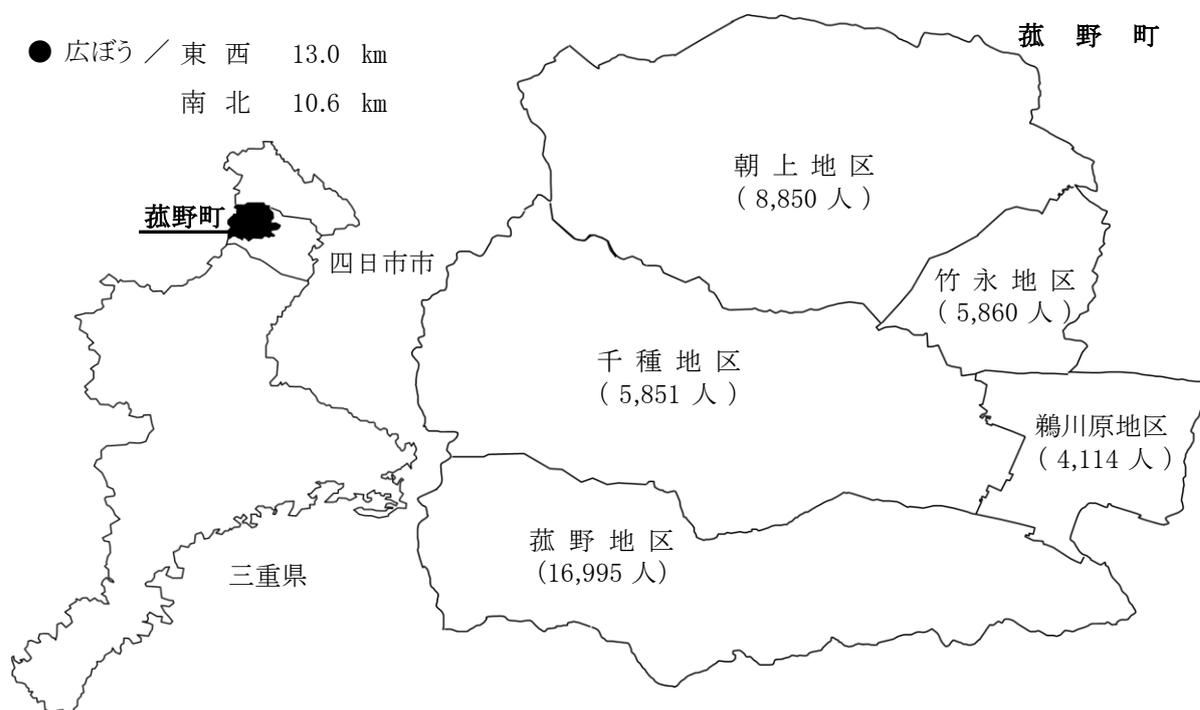
菰野町では、向かうべきまちの将来像に「支えあえる、安全で安心なまち」「豊かな自然を活かして人びとをひきつけるまち」「産業の発展と豊かなくらしが循環するまち」「菰野らしい風景の中、子育てしやすいまち」の4つをあげ、「これらのことが、いつまでも、菰野町としてあり続けられること」を目指しています。

● 位置 / 北緯 35° 01' 43" (世界測地) ● 人口 / 41,670 人
東経 136° 30' 25" (令和3.3.31現在)

● 面積 / 107.28 km² ● 世帯数 / 16,903 世帯
(令和3.3.31現在)

● 海拔 / 御在所岳 1,212 m (最高地)
役場(本庁舎) 77.1 m

● 広ぼう / 東西 13.0 km
南北 10.6 km



菰野消防のあゆみ

昭和58年(1983)

- 9. 30 町議会に常備消防特別委員会設置

昭和59年(1984)

- 3. 5 自治省消防庁より昭和59年度における消防本部及び消防署義務設置町村政令指定（内定）を受ける。
- 7. 19 消防庁舎建設工事着工
- 8. 24 日本消防協会より救急車（2 B型）の寄贈を受ける。
- 10. 21 役場庁舎において救急業務開始（総務課消防防災係16名）

昭和60年(1985)

- 1. 31 消防庁舎完成（コミュニティ防災センターを併設）
- 2. 14 消防庁舎において試行業務開始
- ※ 4. 1 **菰野町消防本部 消防署発足**
消防本部に消防課、予防課を置き、消防署に警防課を置く。
定数31名 車両5台
- 4. 2 消防庁舎竣工式及び開署式

昭和61年(1986)

- 3. 25 ポンプ車（CD-I型）購入
- 11. 19 普通貨物自動車購入

昭和62年(1987)

- 2. 26 はしご車（30m級）購入
- 10. 14 （社）日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受ける。
- 10. 28 広報車購入

昭和63年(1988)

- 4. 12 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 21 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞する。
- 8. 19 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞する。

平成元年(1989)

- 1. 24 救急車（2 B型）購入
- 4. 18 菰野ライオンズクラブより広報車の寄贈を受ける。

平成2年(1990)

- 8. 2 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞する。
- 8. 24 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞する。

平成4年(1992)

- 4. 10 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 23 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成5年(1993)

- 12. 24 訓練塔敷地造成工事開始

平成6年(1994)

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数33名）
- 4. 8 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 27 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成7年(1995)

- 2. 16 水槽付ポンプ車（水－I A型）購入
- 3. 18 訓練塔竣工式
- 12. 22 消毒室完成

平成8年(1996)

- 3. 18 （社）日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受ける。
- 4. 22 緊急消防援助隊旗の伝達を受ける。
- 12. 13 指令車購入
- 12. 20 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数40名）

平成9年(1997)

- 4. 1 菰野町防災行政無線による広報を開始
- 5. 15 救急救命士が誕生

平成10年(1998)

- 2. 4 ポンプ車（CD－I型）購入
- 4. 1 救急救命士業務運用開始
- 10. 15 携帯電話による119番通報受信業務を開始
- 11. 24 積載車購入

平成11年(1999)

- 1. 21 広報車購入
- 6. 2 救急救命士24時間体制開始
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 19 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）に出場する。

平成12年(2000)

- 4. 14 三重県消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成13年(2001)

- 3. 7 高規格救急車購入
- 3. 10 新通信指令室の運用を開始

平成14年(2002)

- 4. 1 消防吏員服制規則改正

平成15年(2003)

- 8. 27 全国優良消防職員表彰受賞する。
- 12. 6 救急医療功労者知事表彰受賞する。

平成16年(2004)

- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣(3年間)
- 9. 3～4 三重県緊急消防援助隊野営訓練及び合同訓練を菰野町で実施する。

平成17年(2005)

- 8. 3 救急救命士1名が気管内挿管講習及び実習修了
- 8. 8 携帯119番直接受信開始
- 10. 1 三重県内消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結

平成18年(2006)

- 2. 22 高規格救急車購入
- 4. 1 緊急消防援助隊登録
- 7. 13 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了

平成19年(2007)

- 1. 30 水槽付ポンプ車（水－I A型）購入
- 7. 25 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 22 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

平成20年(2008)

- 3. 9 救急救命士3名が薬剤投与追加講習及び実習修了
- 3. 14 救助工作車（II型）購入
- 4. 11 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 17 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 8. 28 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 12. 12 査察車購入

平成21年(2009)

- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)
- 6. 25 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了
- 8. 1 Eメール119番通報運用開始
- 11. 30 耐震性貯水槽第1号完成

平成22年(2010)

- 4. 9 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 16 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 12. 2 高規格救急車購入

平成23年(2011)

- 4. 27 火災時における消防活動業務の協力に関する協定を締結する。

平成24年(2012)

- 4. 1 菟野町職員定数条例（消防職員）改正（定数46名）
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)
- 4. 13 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 8. 1 位置情報通知システム（統合型）導入
- 12. 27 広報車購入

平成25年(2013)

- 8. 21 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 11. 18 救急医療功労者知事表彰を受賞する。

平成26年(2014)

- 3. 24 はしご車（先端屈折式 30m級）購入
- 12. 5 ポンプ車（CD-I型CAFS付）購入

平成27年(2015)

- 1. 31 資機材搬送車購入
- 4. 1 救命サポート事業開始
- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数58名）
- 8. 26 消防支援隊発足（35名）
- 11. 26 高規格救急車購入

平成28年(2016)

- 4. 1 三重北消防指令センター運用開始
- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣(3年間)
- 7. 26 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 24 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

平成29年(2017)

- 3. 8 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 11. 28 高規格救急車購入

平成30年(2018)

- 3. 7 消防庁長官表彰功労章を受章する。
- 6. 1 三重北消防指令センターにて多言語三者間同時通訳システム運用開始

令和元年(2019)

- 1. 31 三重県内高速道路等における消防相互応援協定を締結
- 8. 24 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 10. 1 三重北消防指令センターにてNet119緊急通報システム運用開始

令和2年(2020)

- 2. 28 小型動力ポンプ付水槽車（I型）購入
- 3. 4 消防功労者消防庁長官表彰において竿頭綬を受章する。
- 3. 15 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。

歴代消防長

初代	大倉 二郎	自	昭和60年 4月 1日	至	昭和61年 3月31日
二代	田邊 正男	自	昭和61年 4月 1日	至	平成 3年 3月31日
三代	藤田 徹	自	平成 3年 4月 1日	至	平成 7年 3月31日
四代	石原 俊秀	自	平成 7年 4月 1日	至	平成11年 3月31日
五代	内田 芳隆	自	平成11年 4月 1日	至	平成13年 3月31日
六代	金津 正義	自	平成13年 4月 1日	至	平成16年 3月31日
七代	秦 隆	自	平成16年 4月 1日	至	平成18年 4月27日
八代	増田 幸生	自	平成18年 5月 1日	至	平成19年 3月31日
九代	川嶋 正典	自	平成19年 4月 1日	至	平成21年 3月31日
十代	内田 眞伸	自	平成21年 4月 1日	至	平成25年 3月31日
十一代	白木 康裕	自	平成25年 4月 1日	至	平成30年 3月31日
十二代	吉川 澄	自	平成30年 4月 1日	至	令和 3年 3月31日
十三代	山本 正春	自	令和 3年 4月 1日		現在に至る

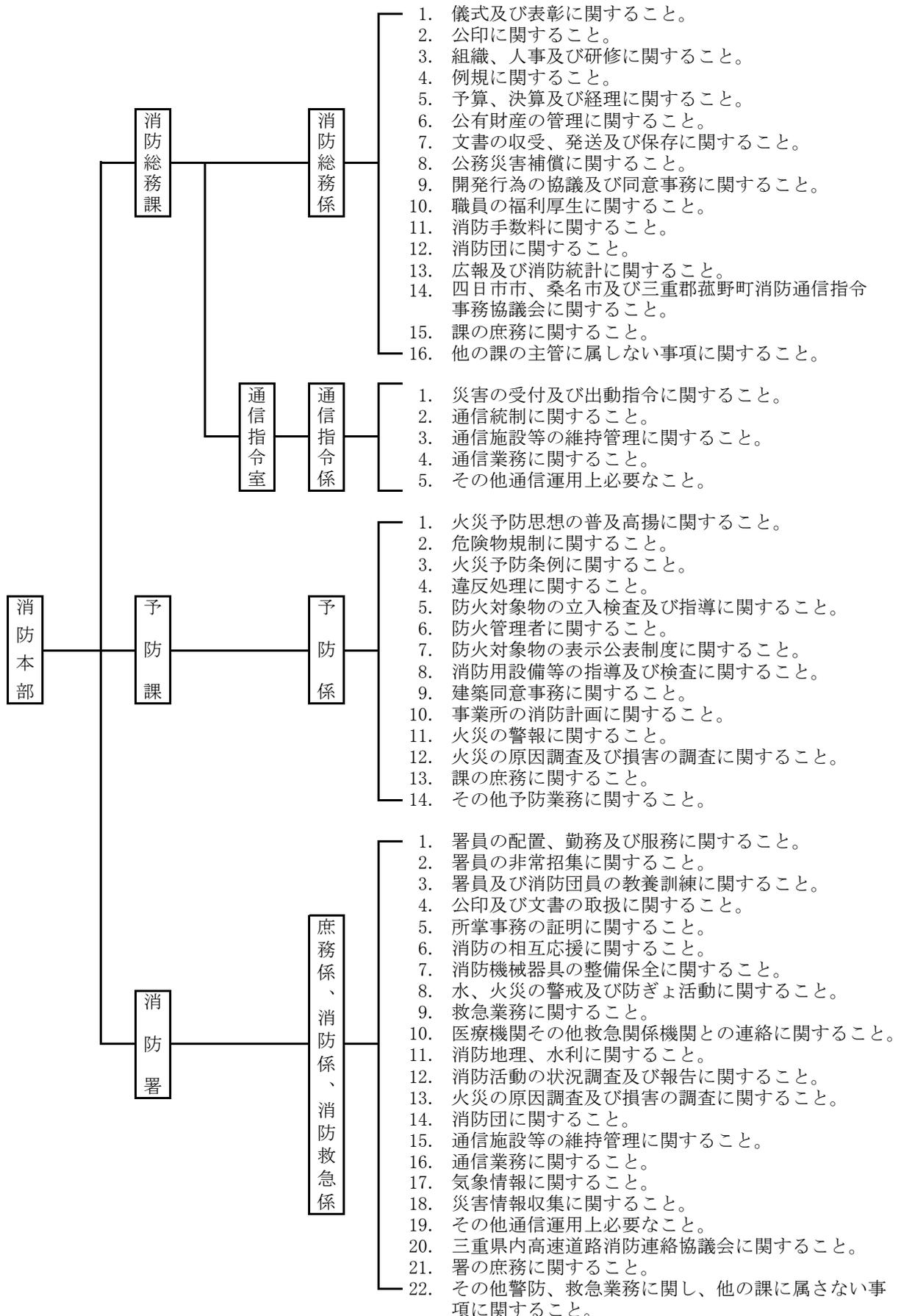
令和2年中の主な行事

- | | |
|---------------|-----------------------------------------|
| 1. 12 | 消防出初式 |
| 1. 22 | 文化財防火運動に伴う特別消防訓練〔福王神社〕 |
| 2. 23 | 防火広報〔町内一円〕 |
| 2. 25 | 春の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔菰野町図書館〕 |
| 3. 1～3. 7 | 春の火災予防運動 |
| 4. 5 | 消防辞令交付式〔中止〕 |
| 5. 22 | 菰野町防火協会理事会総会〔書面会議〕 |
| 5. 31 | 菰野町水防訓練〔中止〕 |
| 6. 7～6. 13 | 危険物安全週間 |
| 6月上旬 | 危険物安全週間に伴う特別消防訓練〔中止〕 |
| 6. 28 | 菰野町消防団操法大会〔中止〕 |
| 8. 30～9. 5 | 防災週間 |
| 8. 30 | 菰野町民総ぐるみ総合防災訓練〔中止〕 |
| 9月上旬 | 防災週間に伴う特別消防訓練〔中止〕 |
| 9. 6～9. 12 | 救急医療週間 |
| 10. 19 | 三重県消防職員警防技術交換会〔三重県消防学校〕 |
| 11. 9～11. 15 | 秋の火災予防運動 |
| 11. 8 | 秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔湯の山乗馬クラブ付近林野〕 |
| 11. 18 | 三重県内高速道路消防連絡協議会総合消防訓練〔新名神高速道路菰野IC作業ヤード〕 |
| 12. 28～12. 31 | 年末特別警戒〔町内一円〕 |

※中止及び書面会議となった行事については、実施予定であった日時及び時期を記載してあります。

消防本部、消防署の組織、機構及び事務分掌

令和 3. 4. 1現在



消防予算(当初額)

(千円)

年度 \ 区分	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水 防 費	合 計
平成29年度	491,685	43,527	57,285	50	592,547
平成30年度	500,483	42,052	16,768	50	559,353
令和元年度	498,958	40,829	88,139	50	627,976
令和2年度	536,732	40,864	77,013	50	654,659
令和3年度	535,782	39,326	135,414	50	710,572

一般会計予算に占める消防費の割合(当初額)

年度 \ 区分	一般会計予算 (千円)	消防予算 (千円)	比 率(%)
平成29年度	13,220,000	592,547	4.5
平成30年度	12,810,000	559,353	4.4
令和元年度	12,870,000	627,976	4.9
令和2年度	13,460,000	654,659	4.9
令和3年度	13,310,000	710,572	5.3

消防費に対する人口、世帯当り額

年度 \ 区分	人 口 (人)	世 帯 (戸)	消防費 (千円)	人口 1人当りの 消防費(千円)	1世帯当りの消防 費(千円)
平成29年度	41,803	16,089	592,547	14	37
平成30年度	41,820	16,284	559,353	13	34
令和元年度	41,738	16,461	627,976	15	38
令和2年度	41,610	16,666	654,659	16	39
令和3年度	41,670	16,903	710,572	17	42

消防力の整備指針と現有消防力の比較

(台)

車 両	消防力の整備指針による基準車両	基準数	現 有 車 両	現有数	比 較
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	0
	は し ご 付 き 消 防 自 動 車	1	は し ご 付 き 消 防 自 動 車	1	0
	化 学 消 防 自 動 車	1		0	△ 1
	救 急 自 動 車	3	高 規 格 救 急 自 動 車 (1) 高 規 格 救 急 自 動 車 (2) 高 規 格 救 急 自 動 車 (3)	3	0
	救 助 工 作 車	1	救 助 工 作 車	1	0
	指 揮 車	1	指 揮 車	1	0
	計	9	計	8	△ 1

(人)

人 員	消防力の整備指針による区分別算定		基準数	現有数	比 較	
	警 防 要 員	消 防 ポ ン プ 自 動 車 (1)	5人×3部制=15人	69	41	△ 28
		消 防 ポ ン プ 自 動 車 (2)	4人×3部制=12人			
		救 助 工 作 車	5人×3部制=15人			
		救 急 自 動 車 (1)	3人×3部制= 9人			
		救 急 自 動 車 (2)	3人×3部制= 9人			
		指 揮 車	3人×3部制= 9人			
		救 急 自 動 車 (3)	(兼 務 運 用)			
		は し ご 付 き 消 防 自 動 車	(乗 換 運 用)			
		化学消防自動車【未配備】				
通 信 員		3	3	0		
予 防 要 員		5	5	0		
そ の 他 の 人 員		4	7	3		
合 計			81	56	△ 25	

令和 3. 4. 1現在

職員階級別、所属別配置状況

令和 3. 4. 1現在

所属 \ 階級	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
消防長・消防総務課	1	2	3	1		2	9
予防課		1	1	2		1	5
消防署		6	13	6	5	11	41
町部局				1			1
合 計	1	9	17	10	5	14	56

職員階級別勤続年数状況

令和 3. 4. 1現在

勤続年数 \ 階級	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
1年未満						2	2
1年						3	3
2年							
3年						5	5
4年					1	1	2
5年		1				1	2
6年					1	1	2
7年					1		1
8年				1	1	1	3
9年							
10年				1			1
11年							
12年					1		1
13年				1			1
14年				1			1
15年				1			1
16年							
17年			1	1			2
18年				1			1
19年			1				1
20年		1	1	1			3
21年							
22年			2				2
23年			2				2
24年			3				3
25年							
26年							
27年			5				5
28年			1				1
29年		1					1
30年							
31年							
32年							
33年		2					2
34年							
35年							
36年	1	4	1	2			8
合 計	1	9	17	10	5	14	56

職員階級別年齢状況

令和 3. 4. 1現在

年齢	階級	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
18歳							2	2
19歳								
20歳							1	1
21歳							1	1
22歳							1	1
23歳							3	3
24歳								
25歳							3	3
26歳							2	2
27歳								
28歳							1	1
29歳						2		2
30歳						2		2
31歳						1		1
32歳					2			2
33歳								
34歳					2			2
35歳					2			2
36歳					1			1
37歳								
38歳					1			1
39歳				2				2
40歳				1				1
41歳								
42歳				1				1
43歳				1				1
44歳				1				1
45歳				3				3
46歳				2				2
47歳				1				1
48歳				2				2
49歳				2				2
50歳								
51歳			2					2
52歳			1					1
53歳								
54歳								
55歳			1					1
56歳		1	5					6
57歳								
58歳								
59歳								
60歳				1	2			3
合 計		1	9	17	10	5	14	56

平均年齢 39.1 歳

消防本部(署)庁舎の概要

令和 3. 4. 1現在

所在地	三重県三重郡菟野町大字潤田4418番地 (敷地面積:5,039.21㎡)					
区分	庁舎	仮設庁舎	訓練棟			車庫棟
	消防署	消防本部	主塔	副塔	倉庫棟	車庫棟
建設年	昭和60年竣工	平成26年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	令和2年竣工
構造	RC2階建	鉄骨2階建	RC4階建	鉄骨3階建	鉄骨2階建	鉄骨平屋建
建築面積	537.7㎡	114.4㎡	39.4㎡	38.6㎡	87.6㎡	53.4㎡
延床面積	858.4㎡	226.8㎡	129.6㎡	94.3㎡	175.2㎡	53.4㎡
1 F	528.1㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡	53.4㎡
2 F	309.3㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡	
3 F	(P.H)21.0㎡		32.4㎡	28.9㎡		
4 F			32.4㎡			

現有消防車両

令和 3. 4. 1現在

車種	区分	車名	規格等	登録番号	登録年月日	排気量 (cc)	車両総重量 (kg)	免許 区分
はしご車		日野	30m級	三重800は1877	H26. 3. 19	8,860	19,120	大型
救助工作車		日野	II型	三重800は1347	H20. 3. 13	7,680	11,470	大型
水槽付ポンプ車		日野	水-IA型	三重800は1184	H19. 1. 29	6,400	9,390	中型
小型動力ポンプ付水槽車		日野	I型	三重830と2002	R 2. 2. 27	5,120	12,655	大型
ポンプ車		日野	CD-I型 (CAFS付)	三重800せ 6	H26. 12. 4	4,000	6,755	準中型
救急1号車		日産	災害対応	三重830す1711	H29. 11. 17	3,490	3,295	普通
救急2号車		日産	高規格	三重830せ1511	H27. 11. 17	3,490	3,265	普通
救急3号車		日産	高規格	三重800す7167	H22. 12. 2	3,490	3,235	普通
査察車		トヨタ	ワゴン	三重800す5463	H20. 12. 11	1,980	2,100	普通
広報車		トヨタ	ワゴン	三重800す8616	H24. 12. 27	2,690	2,670	普通
資機材搬送車		いすゞ	2t積	三重800せ 127	H27. 1. 29	2,990	4,905	準中型

通信施設状況

令和 3. 4. 1現在

	種類	数量	備考
菰野町消防本部、 消防署	車載移動無線局 (デジタル)	12局	菰野波1~2、四日市波1~4、桑名波1~3、統制波1~3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1~6
	携帯移動無線局 (デジタル)	16局	菰野波1~2、四日市波1~4、桑名波1~3、統制波1~3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1~6
	消防団車載移動無線局 (デジタル)	11局	菰野波2、消防団波
	消防団携帯移動無線局 (デジタル)	11局	菰野波2、消防団波
	半固定無線局 (デジタル)	4局	こもの200【卓上型】 こもの201【可搬型】 こもの202【卓上型】 こもの203【卓上型】 役場災害対策室設置 菰野波1~2、四日市波1~4、桑名波1~3、統制波1~3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1~6
	消防救急デジタル無線基地局 (活動波)	1局	活動波：みえきたしれいこもの(菰野波1~2) 【通信所】こものしょうぼう
	三重県消防救急デジタル無線基地局 共通波(菰野中継所)	1局	みえきょうつうこもの(主運用波、統制波1~3) 【通信所】こものしょうぼう
	三重県防災行政無線局	3局	衛星局、地上局、可搬型衛星地球局
	携帯移動無線局 (署活動用携帯型)	36局	こもの310~339、341~343、こもの300~302 署活1~2、消防団波
	デジタル簡易無線局 (携帯型)	15台	
	車両運用端末装置Ⅲ型 (AVM)	11台	ドコモFOMA回線
	職員招集メール発信システム	1式	
	菰野町行政情報メール発信システム	1式	
	指令センター用内線電話機	1回線	三重北消防指令センター連絡用
	駆付け通報装置	1回線	三重北消防指令センターへ直接通報用(玄関前に設置)
	一般加入電話	2回線 4ch	
	F A X	1回線 2ch	一般用、福祉用
	救急車積載携帯電話	5台	
	衛星携帯電話	2台	
	携帯電話	3台	本部1、署2
三重北消防指令センター	報知電話(119)	7回線 14ch	固定電話、携帯電話、IP電話
	F A X 1 1 9	1台	
	N e t 1 1 9	2台	
	順次指令装置	6回線 12ch	指令台連動
	消防テレフォンガイド	1回線 2ch	指令台連動 NTTテレトキにより同時に5回線受信可能
	指令メール	1式	火災指令メール
	多言語三者間同時通訳システム	1回線	通訳センターを介した多言語三者間同時通訳

※三重北消防指令センターは菰野町消防本部、四日市市消防本部、桑名市消防本部が消防通信指令事務を共同運用しています。

消防水利状況

令和 3. 4. 1現在

水 利		地 区	菰 野	鵜川原	竹 永	朝 上	千 種	合 計
消 火 栓	管 径 50 mm 以下		5		1		2	8
	管 径 75 mm		172	81	101	123	112	589
	管 径 100 mm		151	44	38	112	75	420
	管 径 150 mm 以上		160	63	37	85	82	427
	合 計		488	188	177	320	271	1,444
防 火 水 槽	容 量 20 m ³ 未 満		2		2	6	2	12
	容 量 20 m ³ 以上 40 m ³ 未 満		21	3	7	13	4	48
	容 量 40 m ³ 以 上		4	2	1	3	8	18
	耐 震 性 貯 水 槽 40 m ³		7	1	1	2	2	13
	耐 震 性 貯 水 槽 100 m ³		1	1	1	1	1	5
	プ ー ル		4	1	1	2	1	9
	合 計		39	8	13	27	18	105
自 然 水 利	河 川		52	17	12	75	62	218
	池		8	2	3	18	12	43
	合 計		60	19	15	93	74	261

各種研修実施状況

令和2年中

内 容	区 分	延 時 間	延 人 数	回 数
訓 育		5	13	2
法 学 一 般		10	43	5
地 理 及 び 水 利		56	69	25
火 災 予 防		117	341	89
気 象		4	33	3
勤 務 要 綱		97	239	65
消 防 行 動		12	46	6
消 防 戦 術		72	151	37
消 防 機 械		351	1,388	265
実 施 訓 練		971	3,784	602
訓 練 礼 式		17	71	9
救 急 学		902	1,187	311
体 育		80	3,138	341

外部研修等派遣状況

令和2年度

派遣	区分	科 目	期 間	人 員
消 防 学 校		初任科（第57期）救急課救急課程（第23期）	R2. 4. 7～R2.12. 4	3
		特別科 はしご自動車講習（第24期）	R2. 8.24～R2. 8.27	1
		救助科 救助課程（第30期）	R2. 9. 8～R2.10. 9	1
		特別科 指揮課程（第8期）	R2.12. 7～R2.12.11	1
		警防科 警防課程（第32期）	R3. 1.18～R3. 1.29	1
		予防査察科 予防査察課程（第9期）	R3. 1.25～R3. 2. 5	1
		特殊災害科 特殊災害課程（第8期）	R3. 2.15～R3. 2.19	1
救 急		I S L Sプロバイダーコース（神経救急蘇生研修）	R2. 8. 2	1
		J P T E Cプロバイダーコース（外傷病院前救護研修）	R2. 9.12	3
		J P T E Cプロバイダー更新コース（外傷病院前救護研修）	R2. 9.12	2
		新生児蘇生法講習会（病院前コース）	R2. 9.18	1
		P C E Cコース（意識障害病院前救護研修）	R2.10.22	2
		全国救急隊員シンポジウム(web)	R3. 1.28～R3. 1.29	9
救 助		アリゾナボーテックスフレーム講習	R2.12.19～R2.12.20	1
		第23回全国消防救助シンポジウム (web)	R2.12. 3	1
		アドバンスロープレスキュー	R2.12.18	1
予 防		県違反是正研修会	R2. 8.26	1
		製品安全業務報告会 (web)	R2.11.27	1
		危険物事故事例セミナー (web)	R3. 3. 1	1
		消防法令違反是正研修会	R3. 1.15	1
通 信 指 令		通信指令員救急教育	R2.10.29	1
そ の 他		大型自動車免許取得	R2. 6. 5～R2. 9. 4	3
		酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	R2. 8.19～R2. 8.21	1
		緊急自動車ドライバー安全運転研修	R2.10.26～R2.10.27	2
		伐木等の業務にかかる特別教育講習	R2.10.14～R2.10.16	1

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により外部研修の開催数が減少しています。

応急手当普及啓発活動実施状況

菟野町消防本部では平成7年度から応急手当の普及啓発活動実施要綱に基づく普及活動を実施しており、止血法や固定法などを学ぶ救急講習、心肺蘇生法とAEDの取り扱い方法を学ぶ普通救命講習、各区や事業所などで普通救命講習を開催できる指導者を養成する応急手当普及員講習などを開催しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施回数が減少となっています。

区分 年度	救 急 講 習		普 通 救 命 講 習		応 急 手 当 普 及 員 講 習	
	回 数	受 講 者 数	回 数	修 了 者 数	回 数	修 了 者 数
平 成 7 年 度	10	351	5	93		
平 成 8 年 度	16	330	7	78		
平 成 9 年 度	18	384	10	130		
平 成 10 年 度	12	310	8	90		
平 成 11 年 度	14	942	8	142		
平 成 12 年 度	14	382	11	206		
平 成 13 年 度	9	257	13	151		
平 成 14 年 度	9	396	24	408		
平 成 15 年 度	14	592	13	197		
平 成 16 年 度	17	828	16	263		
平 成 17 年 度	9	1,094	33	480	1	12
平 成 18 年 度	15	734	59	840	5	60
平 成 19 年 度	16	461	60	989	3	57
平 成 20 年 度	4	226	71	1,013	4	72
平 成 21 年 度	11	262	44	592	3	45
平 成 22 年 度	7	302	35	512	2	38
平 成 23 年 度	9	319	45	699		
平 成 24 年 度	11	468	39	628	2	26
平 成 25 年 度	6	276	37	571	1	29
平 成 26 年 度	17	459	45	564	3	28
平 成 27 年 度	21	526	47	636	3	42
平 成 28 年 度	12	427	42	555	3	19
平 成 29 年 度	17	671	45	577	3	17
平 成 30 年 度	8	172	40	541	3	22
令 和 元 年 度	16	249	37	480	2	11
令 和 2 年 度	3	37	12	66	6	26
合 計	315	11,455	806	11,501	44	504

自主防災組織

令和 3. 4. 1現在

(1) 婦 人 消 防 隊	}	菰野地区婦人消防隊 (昭和43年4月21日結成 375 人)
		鵜川原地区婦人消防隊 (昭和40年3月20日結成 78 人)
		竹永地区婦人消防隊 (昭和58年6月 1日結成 72 人)
		朝上地区婦人消防隊 (昭和42年4月 1日結成 137 人)
		千種地区婦人消防隊 (昭和57年4月21日結成 116 人)
<hr/>		合計 5 隊 総員 778 人

(2) 自 警 団

合計 32 団 総員 700 人

菰 野 地 区	}	神 明 区 (16 人)
		菰 野 第 一 区 (37 人)
		菰 野 第 三 区 (148 人)
		宿 野 区 (18 人)
		福 村 区 (10 人)
		神 森 区 (14 人)
<hr/>		計 6 団 総員 243 人

鵜 川 原 地 区	}	大 強 原 区 (14 人)
		下 村 区 (15 人)
		川 北 区 (15 人)
		池 底 区 (12 人)
		吉 沢 区 (10 人)
		諏 訪 区 (9 人)
<hr/>		計 6 団 総員 75 人

竹 永 地 区	}	竹 成 区 (11 人)
		永 井 区 (37 人)
<hr/>		計 2 団 総員 48 人

朝 上 地 区	}	榊 区 (21 人)
		松 涛 園 区 (12 人)
		小 島 区 (17 人)
		田 口 新 田 区 (20 人)
		美 山 区 (17 人)
		田 口 区 (9 人)
		日 丘 区 (27 人)
		切 畑 区 (5 人)
		一 本 木 団 地 (10 人)
		青 葉 台 区 (8 人)
<hr/>		計 10 団 総員 146 人

千 種 地 区	}	千 草 区 (24 人)
		音 羽 区 (14 人)
		潤 田 区 (34 人)
		三 滝 園 区 (41 人)
		岡 区 (12 人)
		福 松 区 (17 人)
		奥 郷 区 (10 人)
		江 野 区 (36 人)
<hr/>		計 8 団 総員 188 人

緊急避難所

令和 3. 4. 1現在

区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
神明	グリーンホテル	大字千草7054-173	059-392-3111	40
	神明区公会所	大字菰野8475-22		32
大羽根園	大羽根園自治会公会所	大羽根園並木通4	059-394-1884	62
菰野第一区	菰野第一区第一公会所	大字菰野9007	059-393-2116	29
菰野第二区	菰野第二区公民館	大字菰野2203-1	059-394-0940	80
菰野第三区	南部公民館	大字福村148	059-393-1991	128
	第三区民栄会館	大字菰野1419-8	059-394-0986	50
	川原町集会所	大字菰野1778		18
宿野	宿野公会所	大字宿野230-1	059-394-0913	65
福村	福村公会所	大字福村272	059-394-2744	56
神森	神森集落センター	大字神森705	059-394-1984	33
大強原	大強原公会所	大字大強原3482-1	059-394-6237	47
下村	下村公会所	大字下村2166-3		48
川北	川北公会所	大字川北563	059-393-2074	81
池底	池底集落センター	大字池底1152	059-394-1127	41
吉沢	吉沢集落センター	大字吉沢1792-2		44
諏訪	諏訪公会所	大字諏訪3822	059-394-2904	63
竹成	竹成区公会堂	大字竹成2116	059-396-1880	78
永井	永井集落センター	大字永井3832	059-396-1707	34
田光	田光公会堂	大字田光2066	059-396-0127	90
杉谷	杉谷公会所	大字杉谷2580	059-396-2319	66
榊	榊公会所	大字榊303		16
松涛園	松涛園公会所	大字小島417-185		36
小島	小島集落センター	大字小島1687-1		33
田口新田	田口新田公会所	大字田口新田2256		42
美山	美山区公会所	大字田口新田232-32		13
田口	田口公会所	大字田口2493		56
日丘	日丘区公会所	大字田口新田117-66		16
切畑	切畑公会所	大字切畑578-8		12
根の平	根の平公会所	大字根の平114-1		10
一本木団地	一本木公会所	大字榊895-44		24

区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
青葉台	青葉台公会所	大字杉谷1572-187		39
	(株)マキテック三重工場	大字千草4633-9		87
千草	千草公会所	大字千草2763		50
	千草区区民センター	大字千草2510		26
音羽	音羽公会所	大字音羽585-1		31
潤田	潤田集落研修センター	大字潤田499	059-394-1430	79
三滝園	三滝園公会所	大字潤田650-177		26
岡	岡公民館	大字千草4127-10	059-393-4193	56
福松	福松構造改善センター	大字千草5364-16	059-394-5194	42
奥郷	奥郷構造改善センター	大字千草6368-2	059-394-3773	43
江野	江野区公会所	大字千草7045-897	059-392-2105	37

緊急避難所…有効スペース3㎡×1人

風水害時における緊急避難所を補完する施設

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野地区 コミュニティセンター	大字菰野1418	059-394-5333	21
朝上地区	朝上地区 コミュニティセンター	大字田光4291	059-396-0001	22
千種地区	千種地区 コミュニティセンター	大字千草3851	059-393-2052	18

有効スペース(和室) 3㎡×1人

※緊急避難所を補完する施設とは、緊急避難所で受け入れ出来ない避難者及びキャンプ場宿泊者を受け入れる場合に利用する。

収容避難所

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野町B&G海洋センター	大字菰野4775-1	059-394-3177	381
	菰野小学校	大字菰野1490	059-393-2006	288
	菰野中学校	大字菰野1192	059-393-2122	357
	菰野高等学校	大字福村870	059-393-1131	382
鵜川原地区	鵜川原小学校	大字大強原913	059-393-2118	183
竹永地区	竹永小学校	大字竹成2593-5	059-396-0009	198
朝上地区	朝上小学校	大字田光66	059-396-0004	294
	八風中学校	大字田光3808-18	059-396-0012	338
千種地区	千種小学校	大字千草3861	059-394-2590	333

収容避難所…体育館等3㎡×1人

収容避難所を補完する施設

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
菰 野 地 区	菰野保育園	大字菰野2098	059-393-2135	27
	菰野西保育園	大字菰野8870	059-394-0884	54
	菰野幼稚園 菰野東保育園	大字菰野1485	059-393-1179	69
鶉 川 原 地 区	鶉川原幼稚園 鶉川原保育園	大字大強原829-1	059-393-2405	36
竹 永 地 区	竹永幼稚園 竹永保育園	大字永井59	059-396-0527	51
朝 上 地 区	朝上幼稚園 朝上保育園	大字田光3306-2	059-396-0114	44
	北部子ども子育て支援拠点施設	大字田光4293	059-396-0707	41
千 種 地 区	千種幼稚園 千種保育園	大字音羽2240	059-393-2406	51

※収容避難所を補完する施設とは、収容避難所の収容能力を超える被災者を受け入れる場合に利用する隣接の保育園、幼稚園で、収容人数は、ホール3㎡×1人。

消防団



冬空の中、消防出初式が挙行されました。規律ある分列行進に始まり、優良消防団員の表彰や全消防団員による通常点検及び機械器具点検が行われ、最後は一斉放水で締めくくられました。この一斉放水では、三滝川の堤防から立ち上がる 20 本の水柱が鈴鹿山脈に映え、多くの観客を魅了しました。

菰野町消防出初式

令和 2 年 1 月 12 日

於：菰野町役場南三滝川河川敷

消防団

消防団は郷土愛の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震、風水害、火災等の災害時には町民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平常時には火災予防広報、防災指導等に従事し、地域防災上重要な役割を果たしています。

令和2年中における主な活動は、火災件数10件の内、消防団の出動は9回、延べ出動人員222人。その他、出初式、各種訓練、警戒、警備等に出動し活躍しています。

菰野町消防団の沿革

明治27年	消防制度が統一され、当時の菰野村、鶴川原村、竹永村、朝上村、千種村の5村に消防組が組織される。
昭和 3年	町制施行により菰野村が菰野町となる。
昭和14年	警察消防体制の確立により5町村の消防組が警防団に改められる。
昭和23年	消防組織法の施行により5町村の警防団が消防団として組織される。
昭和30年 4月	町村合併促進法の制定により朝上村と千種村が合併し、朝明村となり朝明村消防団が組織される。
昭和31年 9月	菰野町と鶴川原村、竹永村が合併し菰野町となり、菰野町消防団、朝明村消防団の2団となる。
昭和32年 1月	菰野町と朝明村が合併し菰野町となり、同時に菰野町消防団（団員数 159名）に統一、菰野分団、鶴川原分団、竹永分団、朝上分団、千種分団の5分団で組織される。
昭和41年 7月	湯の山地区自警団が湯の山分団となり、全6分団となる。
昭和43年 1月	菰野町役場に本部班が設置される。
昭和58年 4月	本部班が本部分団となり、全7分団となる。
昭和58年 7月	三重県消防操法大会に本部分団が出場し、優勝する。
昭和59年 7月	三重県消防操法大会に朝上分団が出場し、優勝する。
平成 2年10月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、優良賞を獲得する。
平成 6年10月	全国消防操法大会に菰野分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成 9年 2月	第49回日本消防協会定例表彰式において特別表彰「まとい」を受章する。
平成 9年 8月	三重県消防操法大会に鶴川原分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成18年 7月	三重県消防操法大会に竹永分団が出場し、準優勝する。
平成26年11月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
令和 2年 3月	消防功労者消防庁長官表彰において竿頭綬を受章する。

歴代消防団長(合併以降)

初代	服部 幸太郎	自	昭和32年 1月15日	至	昭和52年 4月 1日
二代	伊藤 正一	自	昭和52年 6月15日	至	昭和55年12月31日
三代	谷 善一	自	昭和56年 1月 1日	至	昭和58年12月31日
四代	辻 収	自	昭和59年 1月 1日	至	平成 7年 2月28日
五代	白木 一	自	平成 7年 3月 1日	至	平成17年 3月31日
六代	小林 幸治	自	平成17年 4月 1日	至	平成29年 3月31日
七代	増田 富雄	自	平成29年 4月 1日	至	平成29年11月21日
八代	服部 卓美	自	平成30年 1月 1日	現在に至る	

消防団の機構、団員数

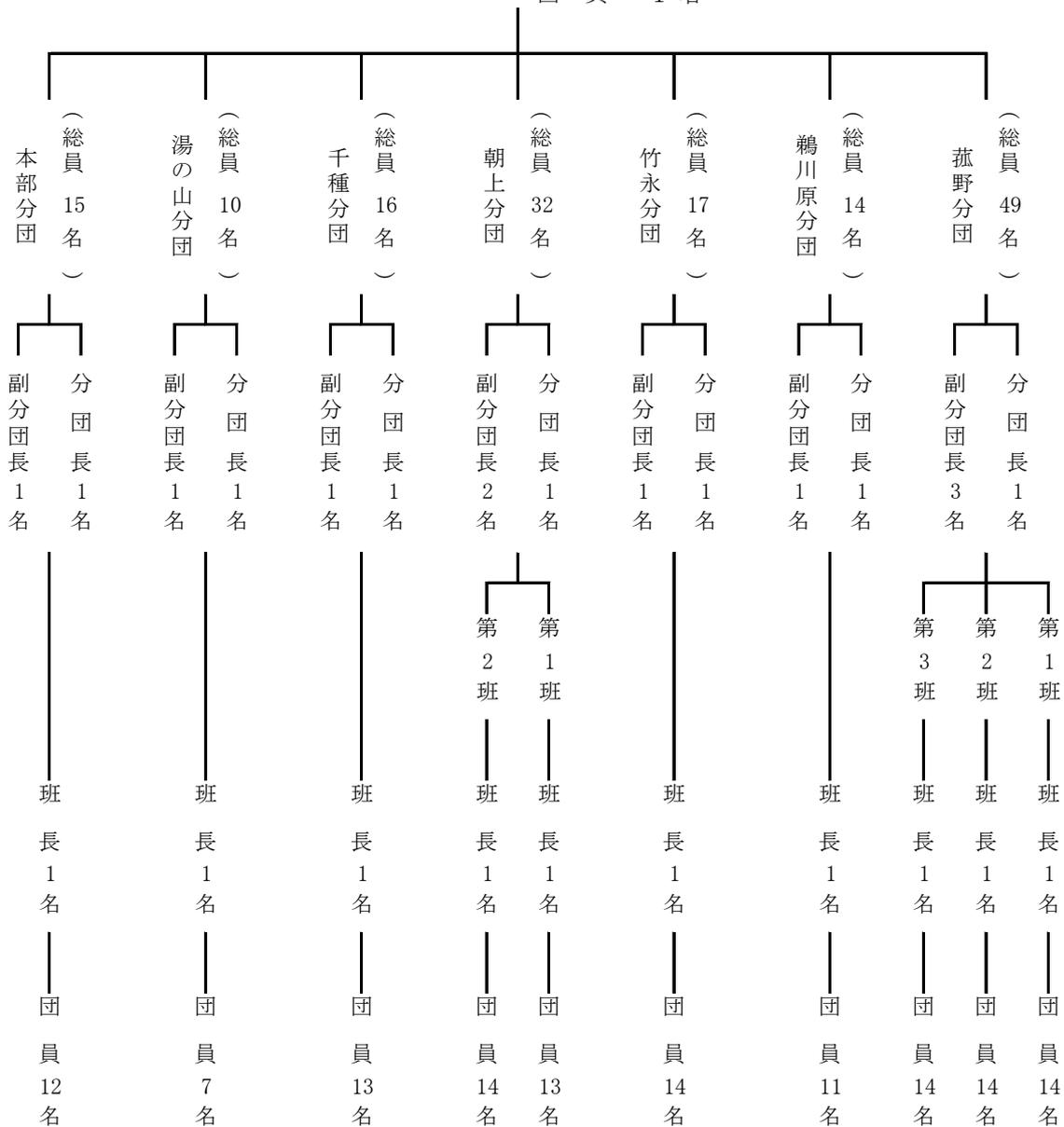
令和 3. 4. 1現在

菰野町消防団 分団数 7分団 (10班)
 団員定数 168名
 現有団員数 157名

菰野町消防団

(総員 157 名)

消防団本部
 団長 1名
 副団長 2名
 団員 1名



年齢別、階級別消防団員数

令和 3. 4. 1現在

年齢 \ 階級	団 長	副団長	分団長	副分団長	班 長	団 員	合 計
18歳～20歳						2	2
21歳～25歳						11	11
26歳～30歳					1	41	42
31歳～35歳			1	2	4	41	48
36歳～40歳			1	3	2	23	29
41歳～45歳			1	5	3	8	17
46歳～50歳			4				4
51歳～55歳		1					1
56歳～60歳		1				1	2
61歳～65歳	1						1
合 計	1	2	7	10	10	127	157

平均年齢 33.8 歳

在職年数別消防団員数

令和 3. 4. 1現在

在 職 年 数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
団 員 数	51	43	38	16	3	3	3	157

消防団員報酬

令和 3. 4. 1現在

階 級	団 長	副団長	分団長	副分団長	班 長	団 員
年 間 報 酬 額 (円)	186,000	128,000	105,000	87,000	76,000	70,000

消防団員各種手当

令和 3. 4. 1現在

項 目	水火災	訓 練	警 戒	ポンプ点検	車両検査	賄手当	立入検査
1 回 当 り の 手 当 (円)	5,000	2,000	1,000	700	700	700	5,000

※水火災については活動時間が4時間未満の場合は2分の1の額とし、立入検査については日額とする。

消防団員職業別構成数

令和 3. 4. 1現在

職 業	自営業	会社員	公務員	その他 (役員等)	合計
人 数	11	92	40	14	157

消防団消防車両配置状況

令和 3. 4. 1現在

分団名	区分	車 名	規格等	登 録 番 号	登録年月日	排気量 (cc)	車両総重量 (kg)	免 許 区 分
	菰野分団第1班		いすゞ	CD-I	三重800す 715	H17. 2. 9	4, 770	4, 460
菰野分団第2班		いすゞ	CD-I	三重800す7276	H23. 2. 14	2, 990	4, 730	準中型
菰野分団第3班		いすゞ	CD-I	三重800さ9007	H15. 12. 15	4, 770	4, 320	準中型
鶴川原分団		いすゞ	CD-I	三重800す5567	H21. 2. 3	2, 990	4, 620	準中型
竹永分団		いすゞ	CD-I	三重800さ4047	H13. 2. 7	4, 570	4, 470	準中型
朝上分団第1班		いすゞ	CD-I	三重800す4668	H20. 2. 6	2, 990	4, 440	準中型
朝上分団第2班		いすゞ	CD-I	三重800さ7399	H14. 12. 16	4, 770	4, 690	準中型
千種分団		いすゞ	CD-I	三重800さ5820	H13. 12. 18	4, 570	4, 410	準中型
湯の山分団		いすゞ	CD-I	三重800さ4046	H13. 2. 7	4, 570	4, 470	準中型
本部分団		いすゞ	CD-I	三重830せ1702	H29. 2. 22	2, 990	4, 900	準中型
団本部		日産	付積	三重800せ 280	H27. 3. 26	2, 480	3, 220	普通
		トヨタ	付積	三重830な2002	R 2. 2. 21	2, 980	3, 160	普通
		日産	ワゴン	三重502ふ2380	H26. 11. 27	1, 590	1, 735	普通

※付積＝小型動力ポンプ付積載車

予防



春の火災予防運動の一環として、町内一円の防火広報を実施することにより、町民の防火意識の向上と啓発に努め、火災の未然防止を図ること、また、商業施設において消防フェアを行うことで、消防団への理解を深めていただくことを目的に実施しました。

防火広報

令和2年2月23日

於：イオンタウン菰野けやき広場

予 防

消防のなかで火災等の災害を未然に防止することも重要な仕事のひとつです。一般家庭に対しては、行事、講習会等を通じ防火意識の普及高揚を図るとともに、事業所に対しては危険物の取扱い、消防用設備等の設置、維持、管理等について指導を行っています。

防火対象物現況

用 途		令和3.4.1現在			令和2.4.1現在			
		4階未満	4階以上	合 計	4階未満	4階以上	合 計	
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場						
	ロ	公会堂又は集会場	37		37	37	37	
2	イ	キャバレー又はナイトクラブ						
	ロ	遊技場 ダンスホール	4		4	4	4	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	1		1	1	1	
3	イ	待合、料理店						
	ロ	飲食店	37		37	42	42	
4		百貨店、マーケット又は店舗	64		64	62	62	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	28	10	38	30	11	41
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	256	14	270	256	15	271
6	イ	病院、診療所又は助産所	16	2	18	16	2	18
	ロ	老人短期入所施設等	17	4	21	18	4	22
	ハ	老人デイサービスセンター等	26		26	23		23
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	1		1	1		1
7		小学校、中学校、高等学校、各種学校	38	2	40	38	2	40
8		図書館、博物館、美術館	4		4	4		4
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場	1		1	1		1
	ロ	イ以外の公衆浴場	3		3	3		3
10		車両の停車場	2		2	2		2
11		神社、寺院、教会	37		37	35		35
12	イ	工場又は作業場	175	4	179	171	4	175
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫又は駐車場	21		21	18		18
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫						
14		倉庫	99	3	102	91	3	94
15		前各項に該当しない事業場	129	4	133	115	4	119
16	イ	特定複合用途防火対象物	41	1	42	36	1	37
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	23	3	26	19	3	22
合 計			1,060	47	1,107	1,023	49	1,072

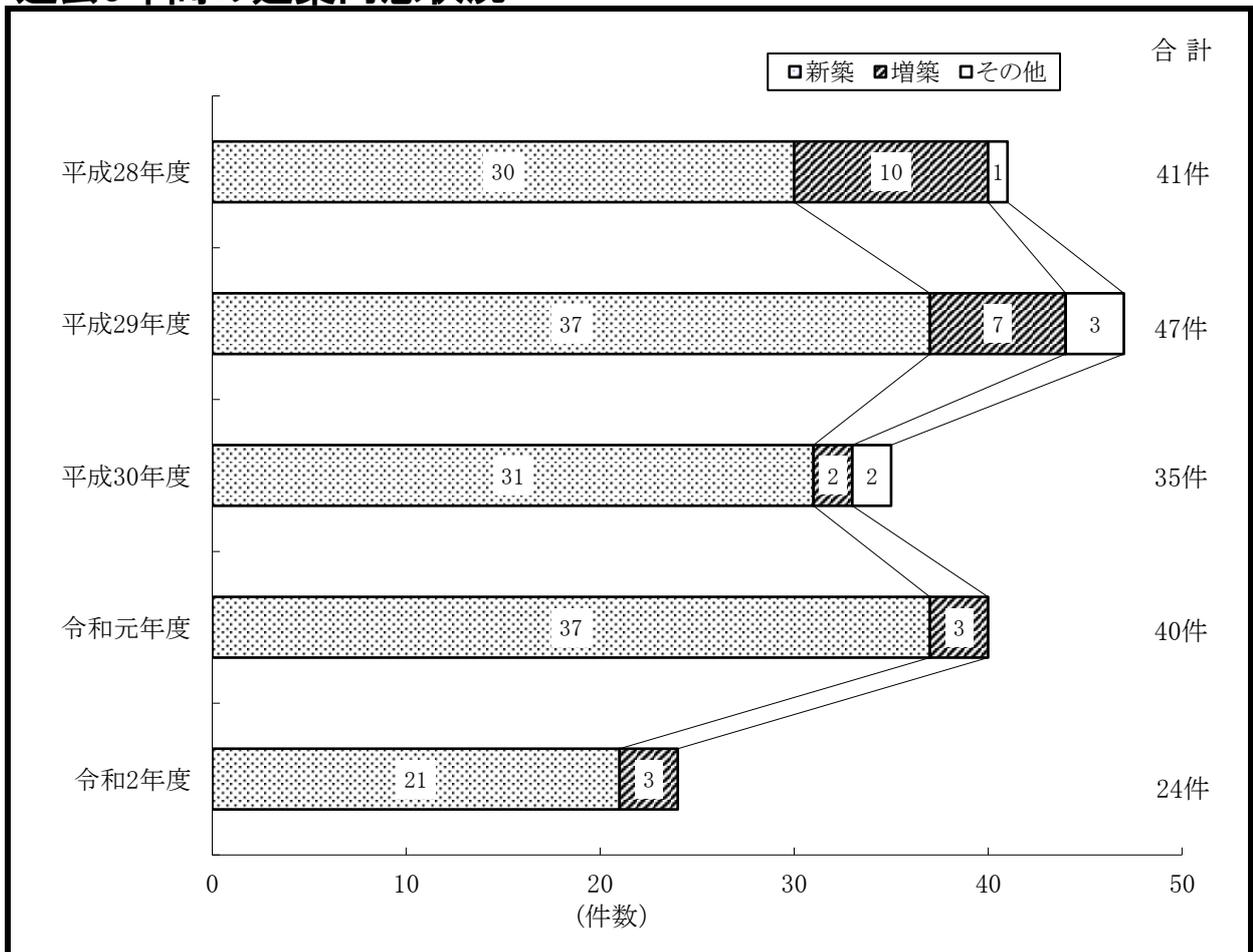
用途別建築同意状況

用 途		月 別												2年度 合 計	元年度 合 計		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場															
	ロ	公会堂又は集会場															
2	イ	キャバレー又はナイトクラブ															
	ロ	遊技場 ダンスホール															
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等															
	ニ	カラオケボックス等															
3	イ	待合、料理店															
	ロ	飲食店															3
4		百貨店、マーケット又は店舗							1		1		1			3	1
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所			1											1	
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅										1				1	3
6	イ	病院、診療所又は助産所												1		1	1
	ロ	老人短期入所施設等								1						1	
	ハ	老人デイサービスセンター等			1			2								3	4
	ニ	幼稚園又は特別支援学校															
7		小学校、中学校、高等学校、各種学校															1
8		図書館、博物館、美術館															
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場															
	ロ	イ以外の公衆浴場															
10		車両の停車場															
11		神社、寺院、教会															2
12	イ	工場又は作業場			1						1					2	5
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ															
13	イ	自動車車庫又は駐車場											1			1	1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫															
14		倉庫			1								1			2	3
15		前各項に該当しない事業場			2		1					2				5	5
16	イ	特定複合用途防火対象物															
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物															
その他		住 宅		1		1									1	3	4
		そ の 他							1							1	7
合 計				1	6	1	1	3	1	2	3	3	1	2		24	40

工事別建築同意状況

区分	工事種別					令和2年度計	令和元年度計
	新築	増築	改築	用途変更	その他		
同意	21	3				24	40
不同意							
合計	21	3				24	40

過去5年間の建築同意状況



危険物施設現況

区分		製造所等の別	製造所	貯 蔵 所							取 扱 所					令和2年度合計	令和元年度合計		
				小計	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油		第一種販売			第二種販売	一般
													営業用	自家用					
倍 数 別	検査済施設数	1	119	31	16	7	34	1	25	5	55	14	19		1	21	175	171	
	5倍以下		58	12	4	7	22	1	10	2	11		3			8	69	71	
	5倍超10倍以下		18		7		9			2	6					6	24	24	
	10倍超50倍以下	1	22	6	4		3		8	1	23	2	15		1	5	46	41	
	50倍超100倍以下		5		1				4		5	2	1			2	10	9	
	100倍超150倍以下		7	4					3		1	1					8	8	
	150倍超200倍以下		2	2							2	2					4	4	
	200倍超1,000倍以下		5	5							7	7					12	12	
	1,000倍超		2	2												2	2		
類 別	第1類		1	1													1	1	
	第2類																		
	第3類																		
	第4類	1	117	29	16	7	34	1	25	5	55	14	19		1	21	173	169	
	第5類		1	1													1	1	
	第6類																		
	混在																		

危険物施設許可認可状況

区分		許 可				完 成 検 査				仮使用承認		廃 止 届	
		設 置		変 更		設 置		変 更					
		製造所等の別		2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
製 造 所													
貯 蔵 所	屋 内		1	1			1	1		1			
	屋外タンク		1	2	1		1	2	1	1	1	1	1
	屋内タンク												
	地下タンク												2
	簡易タンク												
	移動タンク				2				2				
	屋 外												
取 扱 所	給 油			4				4		4			
	第一種販売												
	第二種販売												
	一 般			4	9			5	11	4	9		2
合 計			2	11	12		2	12	14	10	10	1	5

各種届出処理状況

区 分	件 数		区 分	件 数	
	令和 2年度	令和 元年度		令和 2年度	令和 元年度
防 火 管 理 者 選 解 任 届	68	69	蓄 電 池 設 備 設 置 届	1	4
消 防 計 画 書	66	80	ネオン管灯設備設置届		
消防用設備等点検結果報告書	379	305	水素ガスを充てんする気球設置届		
液化石油ガス等貯蔵取扱届	36	15	少量危険物貯蔵取扱届	4	4
防火対象物使用開始届	35	23	指定可燃物貯蔵取扱届	2	1
消 防 訓 練 実 施 届	153	171	毒物、劇物貯蔵取扱届		
炉 設 置 届			火災とまぎらわしい煙等届	109	82
ボイラー設備等設置届	3	3	煙火（打上げ、仕掛け）届		10
発 電 設 備 設 置 届		1	消防用設備等着工届	71	42
変 電 設 備 設 置 届	6	7	消防用設備等設置届	73	42
防火対象物点検結果報告書	25	29	露 店 等 の 開 設 届	1	72

消防用設備等設置検査実施状況

区 分	件 数	
	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度
検 査 済 証	42	25

広報、啓発活動状況

令和2年度

区 分		回 数 等	延べ対象者数等
消 防 広 場（菰野町文化祭）		※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	
庁 舎 見 学		1回	41人
訓 練 指 導		19回	632人
一 人 暮 ら し 高 齢 者 防 火 訪 問		※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため防火訪問は中止し、対象者に防火パンフレットを配付	
巡 回 広 報		11回	町内全域
防 火 だ よ り の 発 刊		2回	27,300部
写 生 大 会、防 火 書 道 コ ン ク ー ル		※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	
広報印刷物等	ポ ス タ ー		1,215枚
	チ ラ シ		400枚
	広 報 こ も の	7回	70,500部
	お 知 ら せ 版	6回	84,600部
そ の 他	の ぼ り	28日間	89本
	懸 垂 幕	21日間	3枚
	横 断 幕	28日間	19枚
	防 災 ラ ジ オ 放 送	21回	12,246台

【令和3年度全国統一防火標語】

「おうち時間 家族で点検 火の始末」

【令和3年度危険物安全週間推進標語】

「事故ゼロへ トライ重ねる ワンチーム」

火災



総務省消防庁によると令和元年の総出火件数は、37,683 件でした。これは、おおよそ 1 日あたり 103 件の火災が発生したことになります。

消防本部では、消防職団員の技術及び連携活動能力向上の強化を図る目的で、毎年 11 月に秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練を行っています。

秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練

令和 2 年 11 月 8 日

於：湯の山乗馬クラブ付近林野

火 災

令和2年中は10件の火災が発生し、これら全火災での損害額は35,313千円でした。

火災件数は前年に比べて2件増加し、特に林野火災については昨年の0件から2件、車両火災も2件増加しています。なお、負傷者の発生はありませんでした。

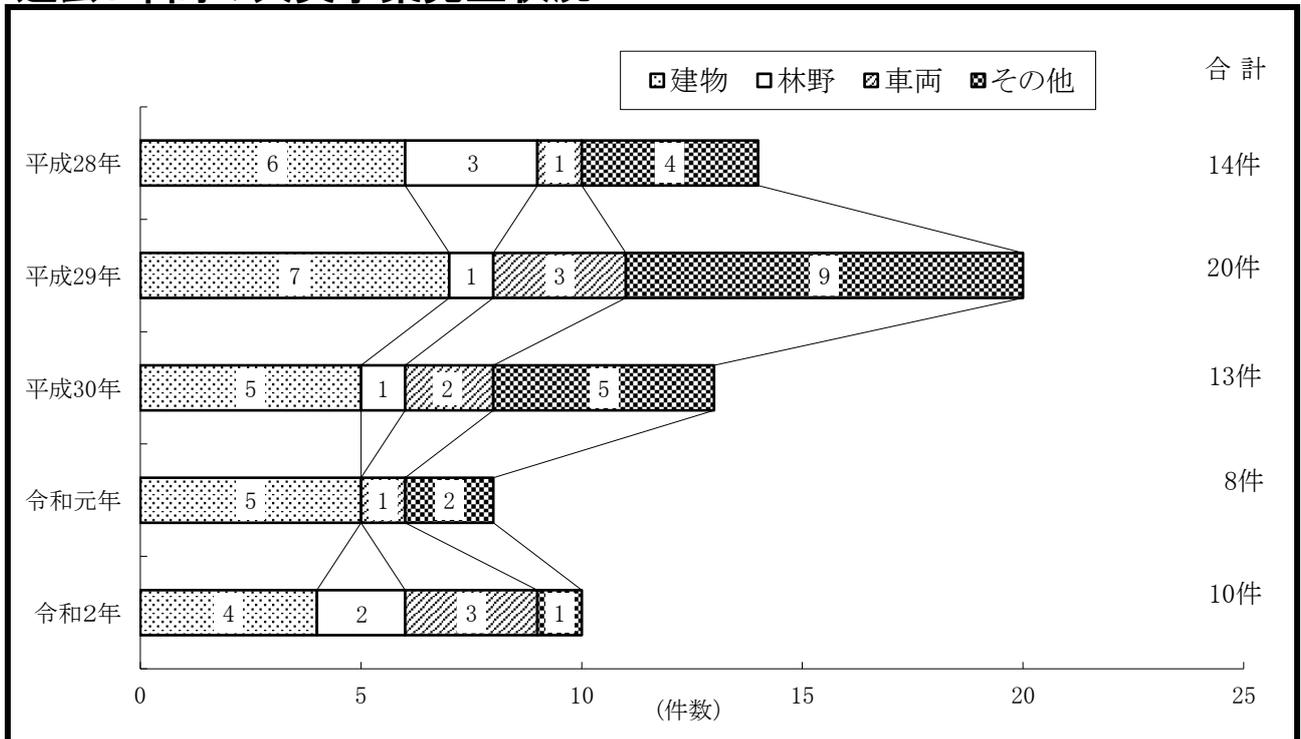
火災事案発生状況

区 分		年 別				
		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
全 国	火 災 件 数	36,831	39,373	37,981	37,683	
	出 火 率	2.9	3.1	3	3	
	1 件 当 り 損 害 額 (千 円)	2,043	2,269	2,228	2,410	
三 重 県	火 災 件 数	654	634	738	660	
	出 火 率	3.5	3.4	4	3.6	
	1 件 当 り 損 害 額 (千 円)	1,981	1,384	1,954	1,793	
菰野町	火 災 件 数	14	20	13	8	10
	出 火 率	3.4	4.8	3.1	1.9	2.4
	1 件 当 り 損 害 額 (千 円)	1,888	1,300	156	1,889	3,531

※出火率＝人口1万人あたりの出火件数

菰野町人口 41,643人(令和2年12月31日現在)

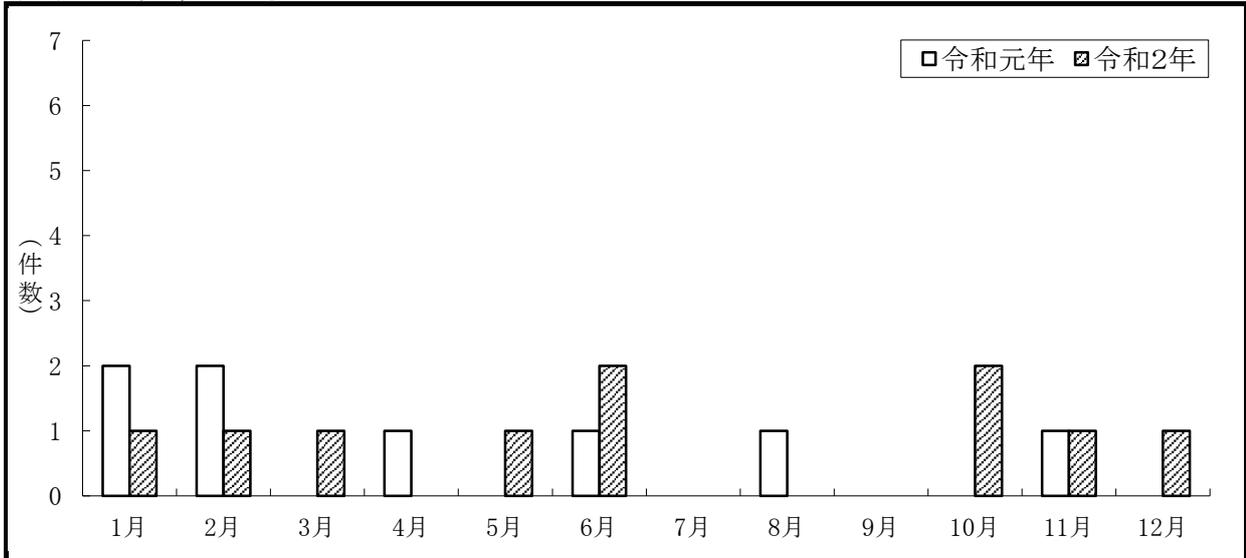
過去5年間の火災事案発生状況



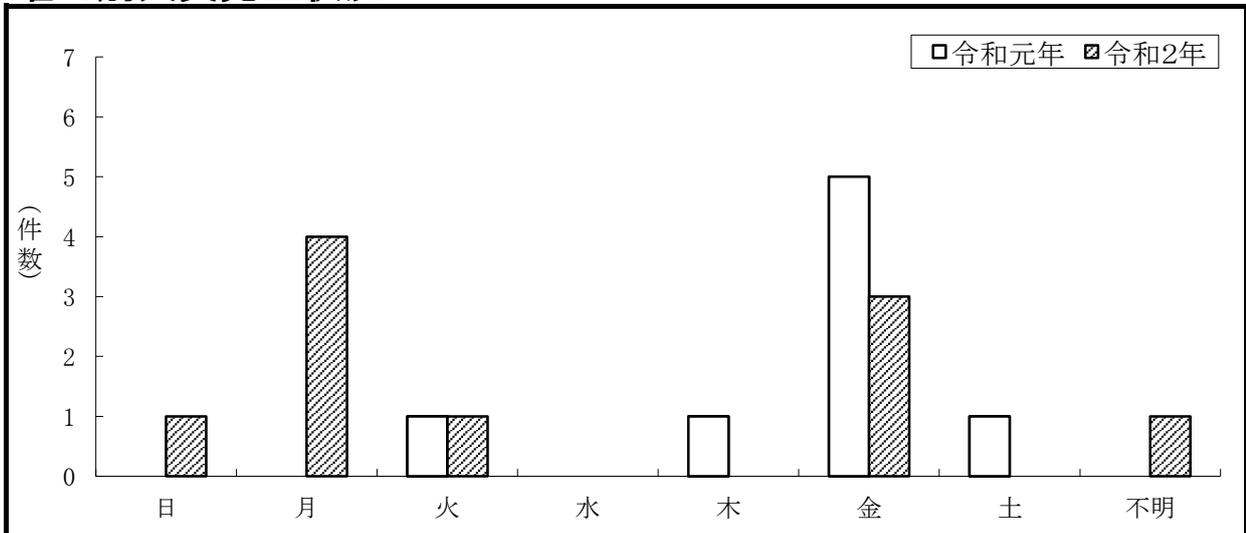
地区別火災発生状況

区分 地区	火災 件数	火災種別				建物 焼損面積 (㎡)	林野 焼損面積 (a)	焼損棟数					り 災世帯 数	損害額 (千円)	死傷者	
		建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災			全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	合 計			死 者	負 傷者
菰野	4	1	1	2		1.0							1,347			
鵜川原	3	1	1	1	231	0.3	2		1			1	33,908			
竹永	1															
朝上	1	1			8				1				58			
千種	1	1			2		1									
合計	10	4	2	3	241	1.3	3		2			1	35,313			

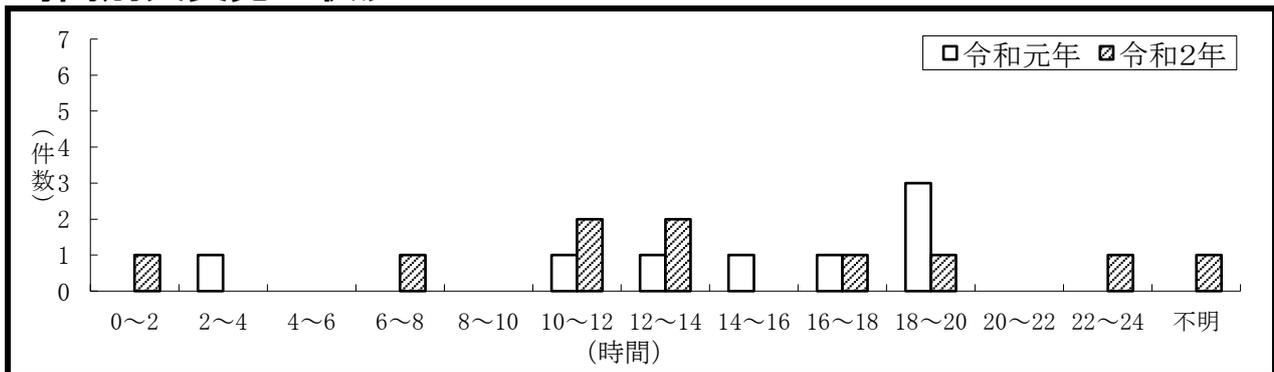
月別火災発生状況



曜日別火災発生状況



時間別火災発生状況



火災出動状況

区分	種別	火 災					非 火 災				管外
		建 物	林 野	車 両	その 他	計	警 戒	誤 報 誤 認 虚 報	その 他	計	
署単独出動							23	7	1	31	
第1出動		3	2	3	1	9					
第2出動											
第3出動											
事後聞知		1				1					
合 計		4	2	3	1	10	23	7	1	31	

火災出動区分詳細

火災種別	出動区分	消防本部・消防署出動車両	消防団出動車両
建物 航空機 危険物施設	第1出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	全分団 11車両
林野	第1出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	全分団 11車両
車両 特殊車両 危険物車両	第1出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	地元分団 本部分団 2~3車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第3出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	全分団 11車両
枯草 その他	第1出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	地元分団 本部分団 2~3車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第3出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	全分団 11車両
中高層	第1出動	タンク車 ポンプ車 はしご車 指揮車 4車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4~5車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 はしご車 指揮車 4車両	全分団 11車両
トンネル (高速道路)	第1出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 救助工作車 指揮車 5車両	
	第2出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 救助工作車 指揮車 5車両	
事後聞知		タンク車 指揮車 1~2車両	

※高速道路内の火災は原則として消防団は出動しない。

火災発生状況及び出火原因状況

番号	火災種別	出火日時	出火地区 (区)	※覚知別	天候	風向	風速 (m/s)	気温 (℃)	
1	車両	1月3日(金) 12時30分	菰野 (湯の山)	報知電話	晴	南	2	11	
2	その他	2月23日(日) 10時15分	竹永 (竹成)	報知電話	曇	西北西	12	9	
3	車両	3月27日(金) 22時30分	鵜川原 (川北)	報知電話	雨	北西	0	13	
4	建物	5月 (出火日時不明)	菰野 (菰野第一区)	加入電話	晴	北	5	16	
5	林野	6月8日(月) 17時0分	鵜川原 (下村)	報知電話	晴	南	4	27	
6	建物	6月8日(月) 18時0分	千種 (千草)	報知電話	晴	南	3	26	
7	建物	10月5日(月) 10時0分	朝上 (田口)	報知電話	曇	北	4	20	
8	車両	10月30日(金) 1時20分	菰野 (大羽根園)	報知電話	晴	北北西	3	13	
9	建物	11月24日(火) 7時50分	鵜川原 (大強原)	加入電話	晴	南西	1	11	
10	林野	12月7日(月) 12時20分	菰野 (神明)	報知電話	晴	北北西	3	15	

※ 報知電話 = 119番 (携帯電話等含む)

加入電話 = 一般加入電話

	湿度 (%)	出 火 原 因 等			被 害 状 況
		発 火 源	経 過	着 火 物	
	53	排気管（エンジンルーム）	過熱する	その他	普通乗用車のエンジンルーム内の一部を焼損
	50	不明	不明	木切れ	廃材及び周辺の落ち葉等を焼損
	94	不明	不明	エンジン	大型トラックの車両本体、積載貨物及び道路施設を焼損
	26	消し炭薪	高温物が触れる	繊維製品	倉庫内に停車していたトラック 1 台を焼損（ぼや）
	65	枯れ草焼き	火源が動いて接触する	その他（笹、灌木）	原野を焼損
	65	枯れ草焼き	火源が動いて接触する	柱、けた、はり	空地に建てた物置及びその周辺を焼損（全焼）
	61	その他	余熱で発火する	その他	倉庫の一部と収容物を焼損（部分焼）
	51	不明	不明	その他	普通乗用車 1 台を焼損
	57	不明	不明	不明	木造二階建て建物（全焼）及び鉄骨造二階建て倉庫（部分焼）軽トラックのシートの焼損
	54	不明	不明	枯草（生えたまま枯れたもの）	立木の枯枝及び下草を焼損

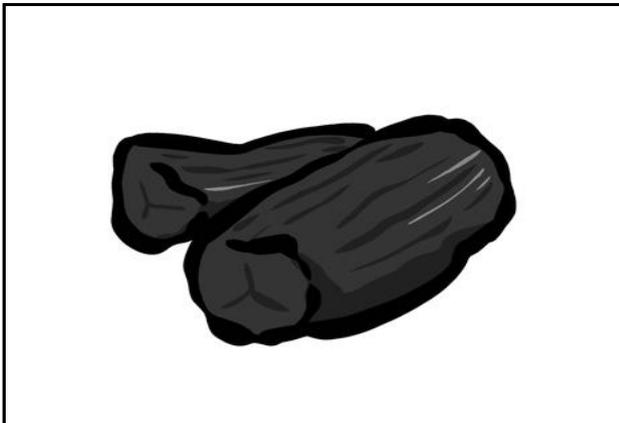
絵で見る火災原因（10件）



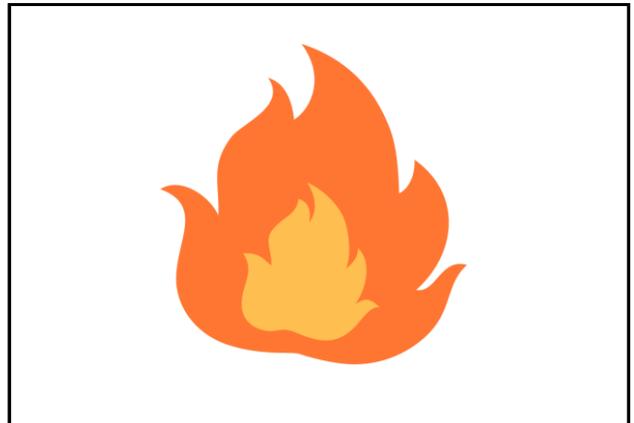
枯草焼き 2件



内燃機関 1件



消し炭薪 1件



その他 1件



不明 5件

救急、救助



毎年開催される全国消防救助技術大会に向けた訓練を行っています。これは消防の救助技術を競技形式としたもので、全国で統一した内容となっています。この大会に出場するため隊員は訓練を重ね、体力、気力、技術の向上に努めています。新型コロナウイルス感染症の影響で大会は中止となりましたが、消防本部内での発表会を実施しました。

救助訓練

令和2年9月

於：菰野町消防本部

救 急

令和2年中の救急出動件数は1,349件、搬送人員は1,311人でした。1日あたり平均3.7件の出動で、町民32人に1人の割合で救急車が利用されたこととなります。

救急件数を事故種別で見ると、急病が868件(64.3%)で最も多く、続いて一般負傷が253件(18.8%)、交通事故が122件(9%)、その他が106件(7.9%)となりました。

救急件数及び搬送人員が対前年比で減少した理由としては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う衛生意識の向上や不要不急の外出自粛といった行動変容により、救急事案の減少に繋がったことなどが考えられます。

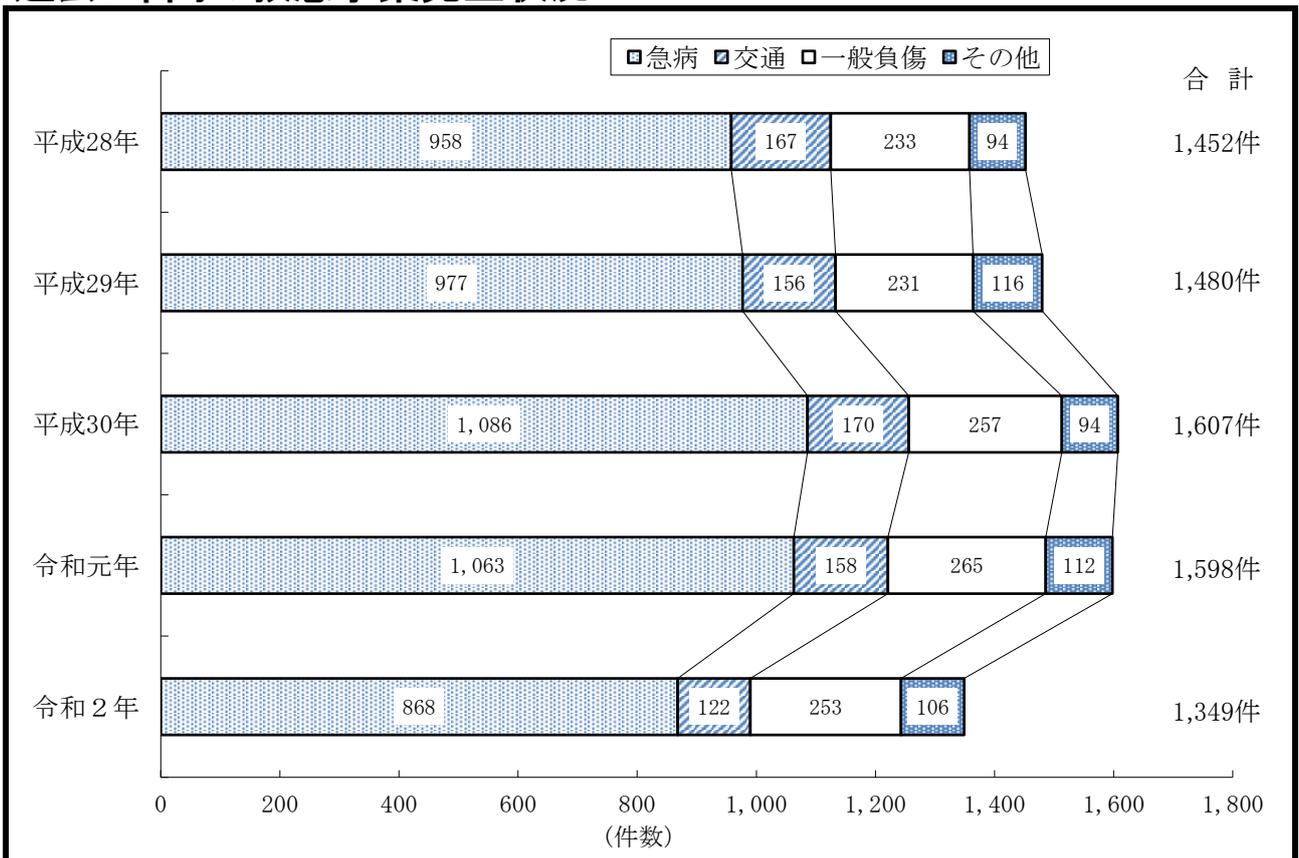
救急事案発生状況

区 別		年 別				
		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
全 国	救急件数	6,209,964	6,342,147	6,605,213	6,639,767	
	発生率	489	499	520	523	
三 重 県	救急件数	91,492	94,160	100,560	98,919	
	発生率	504	519	554	545	
菰 野 町	救急件数	1,452	1,480	1,607	1,598	1,349
	発生率	348	354	384	383	324

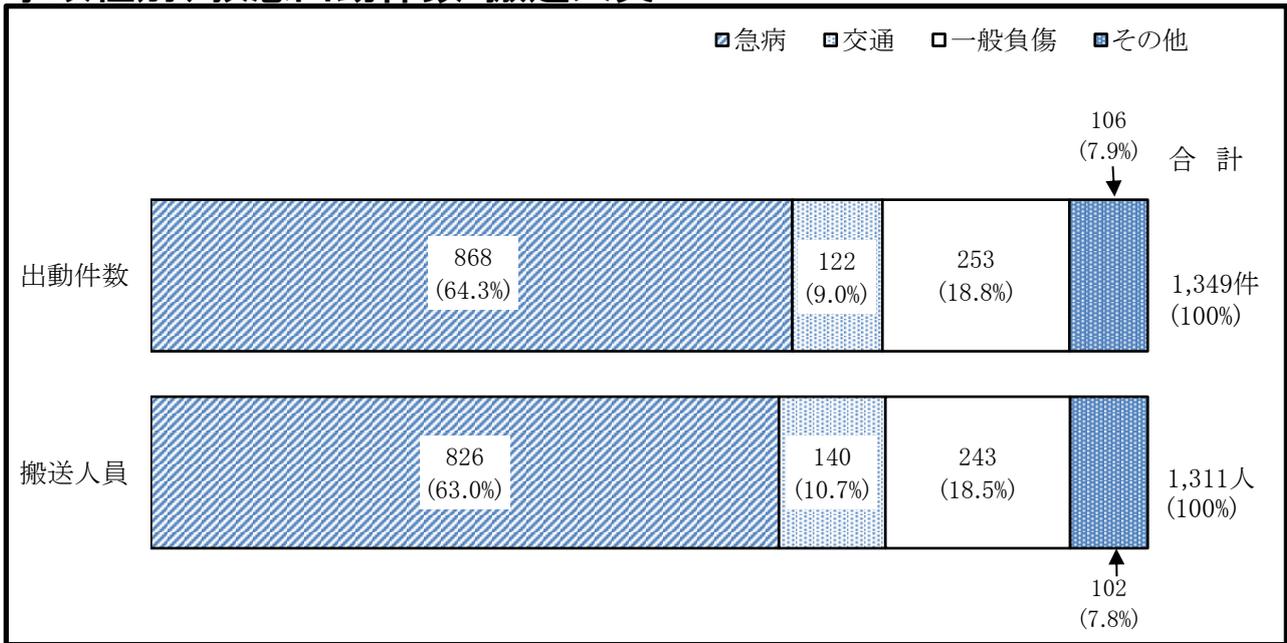
※発生率=人口1万人あたりの発生件数

菰野町人口 41,643人(令和2年12月31日現在)

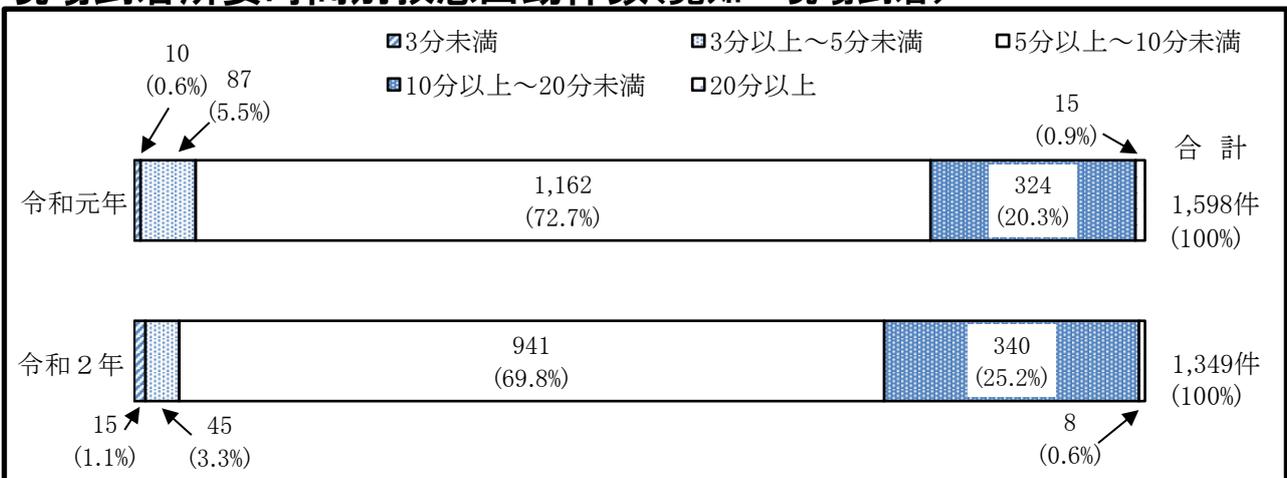
過去5年間の救急事案発生状況



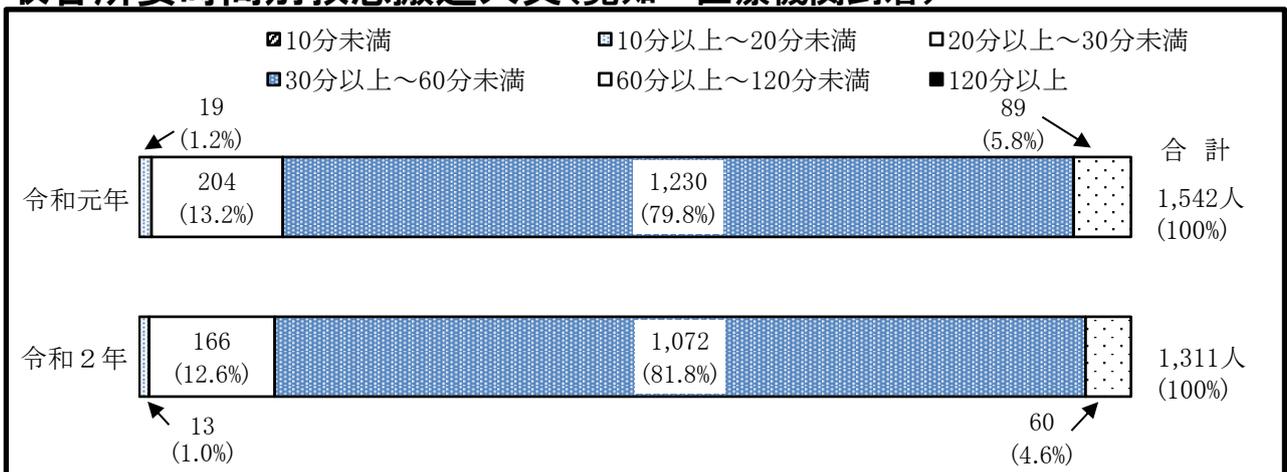
事故種別、救急出動件数・搬送人員



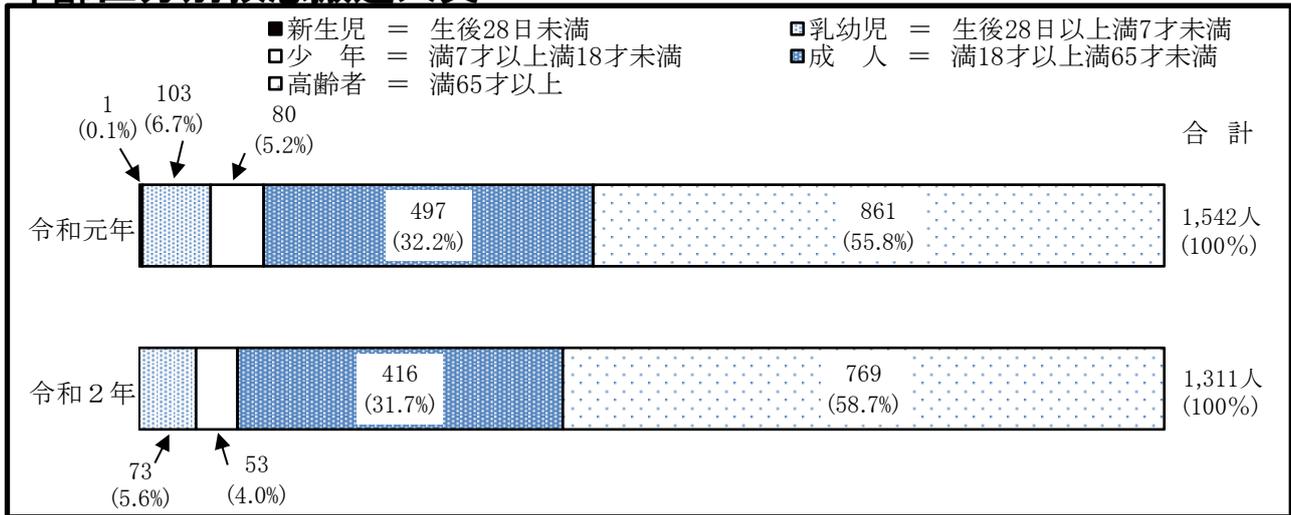
現場到着所要時間別救急出動件数(覚知～現場到着)



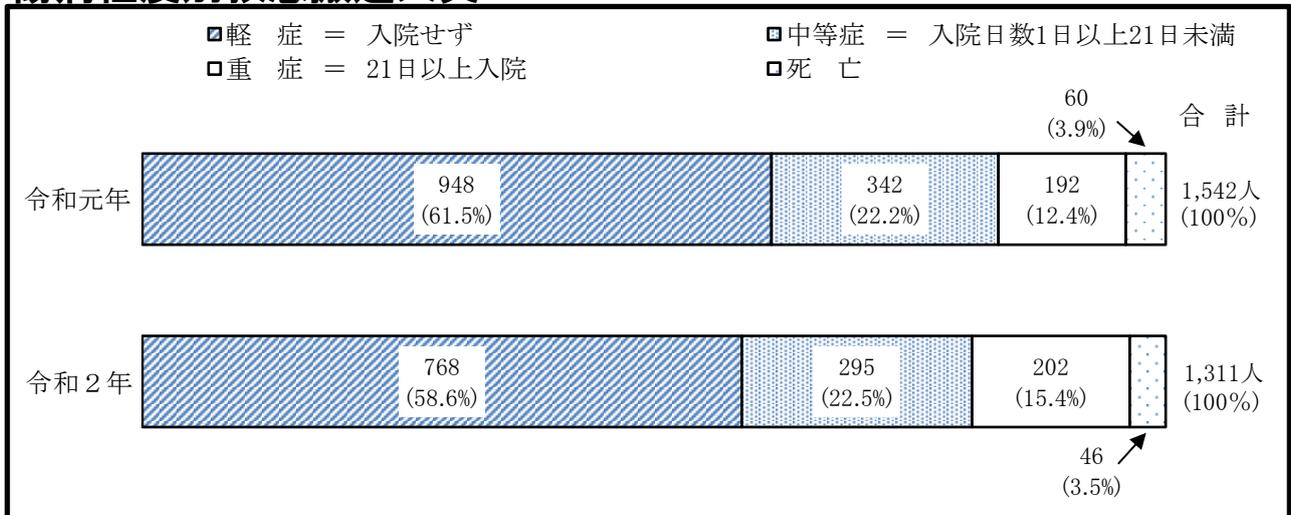
収容所要時間別救急搬送人員(覚知～医療機関到着)



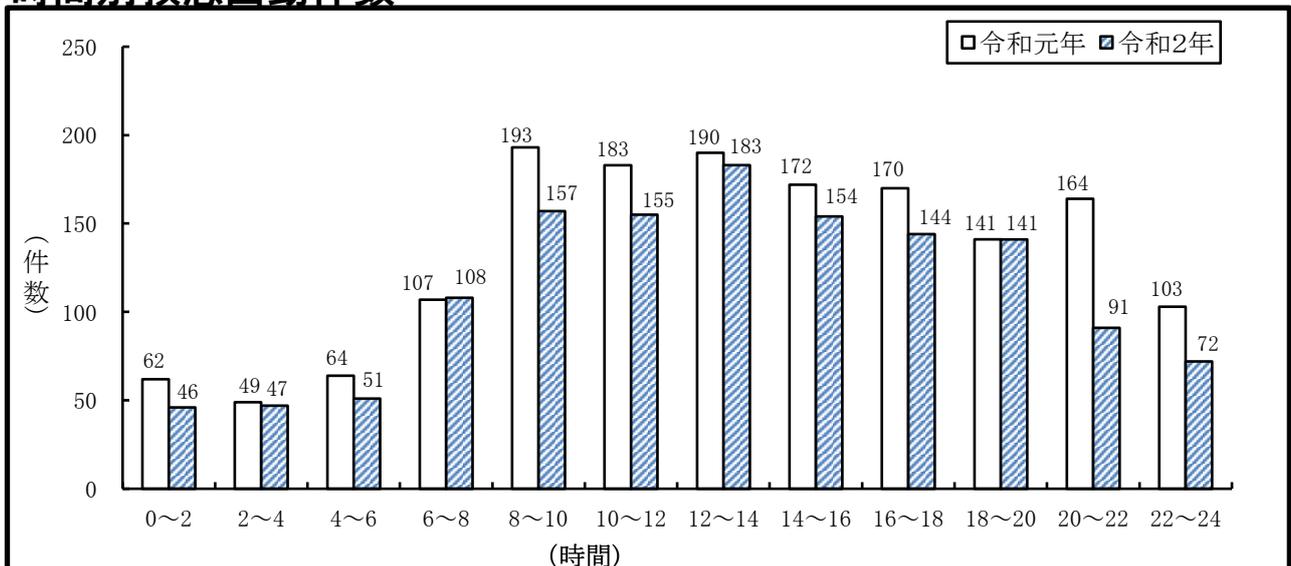
年齢区分別救急搬送人員



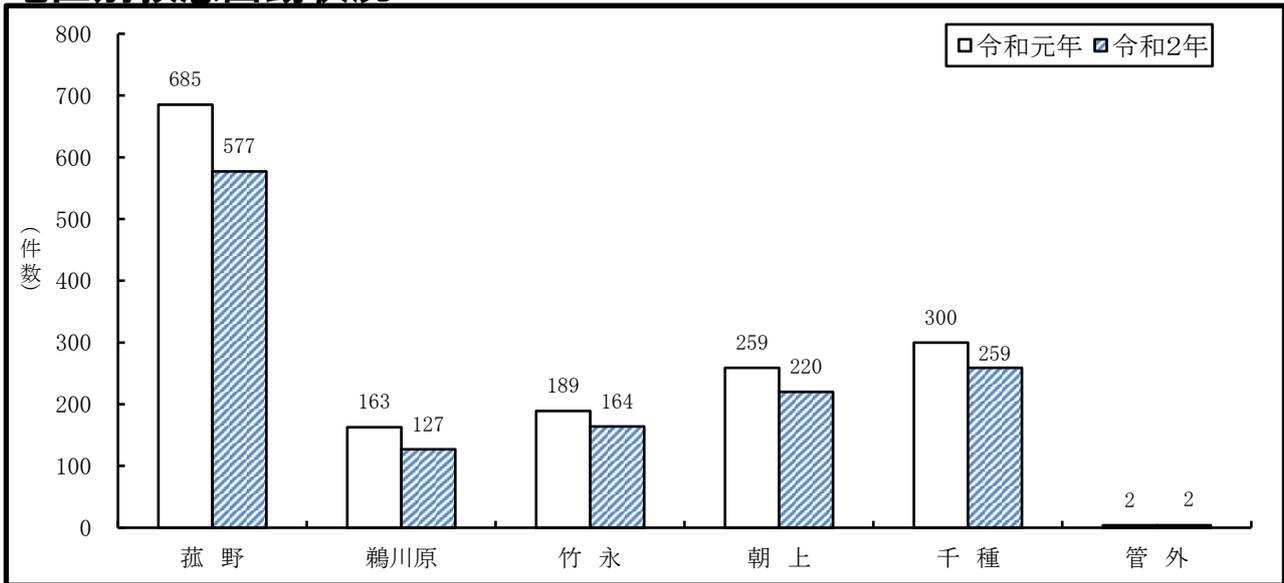
傷病程度別救急搬送人員



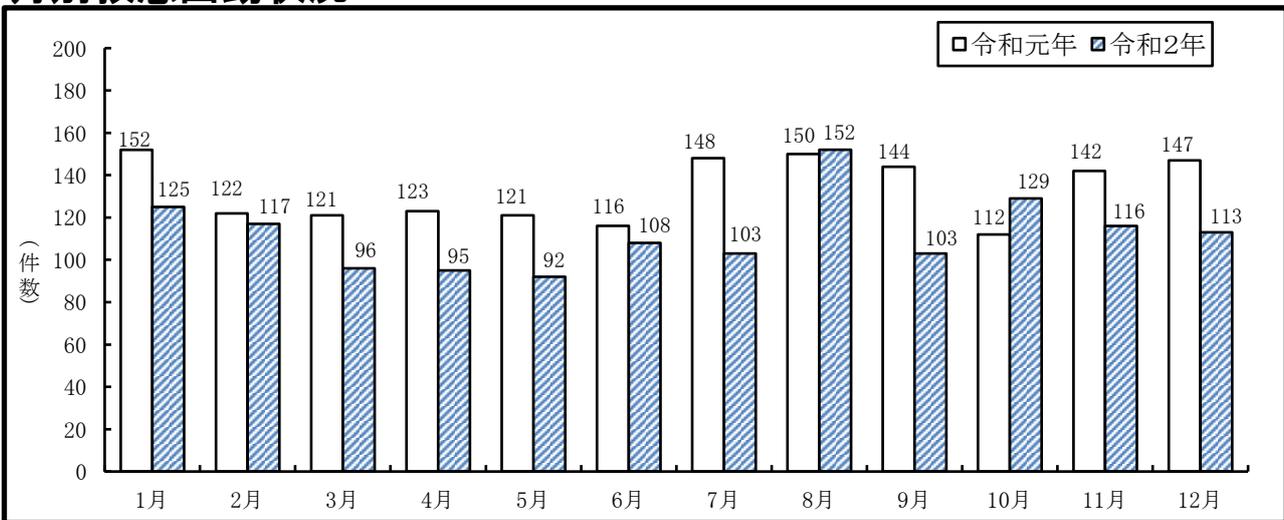
時間別救急出動件数



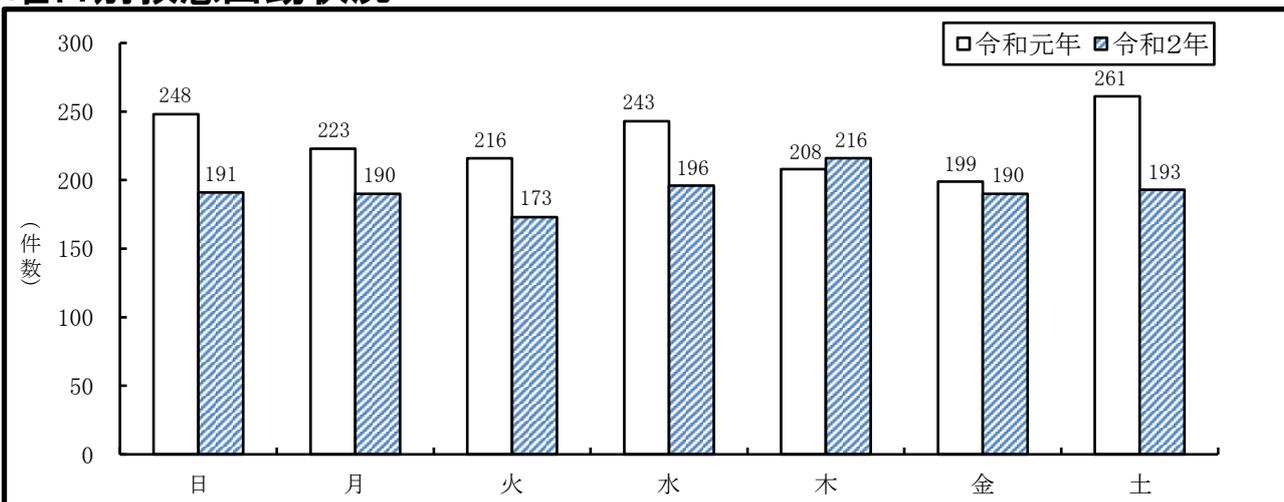
地区別救急出動状況



月別救急出動状況



曜日別救急出動状況



年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	令和2年 合計	令和元年 合計
死亡				7	39	46	60
重症		1	1	42	158	202	192
中等症		7	6	72	210	295	342
軽症		65	46	295	362	768	948
その他							
合計		73	53	416	769	1,311	1,542

事故種別、年齢区分別救急搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和2年 合計	令和元年 合計
新生児													1
乳幼児				6			27			40		73	103
少年				19		7	8			17	2	53	80
成人				81	21	2	52		7	242	11	416	497
高齢者				34	1		156		5	527	46	769	861
合計				140	22	9	243		12	826	59	1,311	1,542

事故種別、傷病程度別救急搬送人員

事故種別 傷病程度	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和2年 合計	令和元年 合計
死亡				1					2	43		46	60
重症				12	5		47		2	116	20	202	192
中等症				18	3	1	41		3	196	33	295	342
軽症				109	14	8	155		5	471	6	768	948
その他													
合計				140	22	9	243		12	826	59	1,311	1,542

事故種別、時間別救急出動件数

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	令和2年合計	令和元年合計
休日					25	1	5	46		4	158	2	241	332
休日以外の日					97	21	4	207	1	11	710	57	1,108	1,266
時間内	0～2				4			3		1	38		46	62
	2～4				3	1		9			34		47	49
	4～6				1			12			38		51	64
	6～8				14			21		1	72		108	107
	8～10				10	3		33		2	105	4	157	193
	10～12				19	5	1	35		4	80	11	155	183
	12～14				18	5	3	27		1	113	16	183	190
	14～16				15	4	2	31	1	1	88	12	154	172
	16～18				16	3		28		4	82	11	144	170
	18～20				15	1		25			97	3	141	141
	20～22				5		3	17		1	64	1	91	164
	22～24				2			12			57	1	72	103
令和2年計				122	22	9	253	1	15	868	59	1,349		
令和元年計			3	158	20	11	265	4	15	1,063	59		1,598	

事故種別、応急処置件数

事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
止血	13	15	59	7	94
固定	11	106	84	20	221
人工呼吸	1	1	1		3
心肺蘇生	38	1		2	41
酸素吸入	193	14	4	25	236
気道確保	43	2	2	2	49
気道確保（特定行為）	9			1	10
保温	315	46	75	38	474
被覆	7	22	73	9	111
除細動	2				2
静脈路確保	32		1	1	34
薬剤投与	21			1	22
ブドウ糖投与	4				4
その他	2,798	429	650	293	4,170
合計	3,487	636	949	399	5,471

※人工呼吸は単独で行った場合のみ計上

※その他は血圧、血中酸素飽和度の測定、聴診器による呼吸音聴取等を計上

事故種別、医療機関別救急搬送人員

告示別等	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		令和2年合計		令和元年合計		
	開設別		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		
救急告示医療機関	国立		1	1							1	1	2	2	
	公立		519	519	81	81	133	133	70	70	803	803	952	952	
	公的		261	79	52	21	102	41	25	10	440	151	489	138	
	私的	病院		38	38	7	7	8	8	7	7	60	60	85	85
		診療所													
計		819	637	140	109	243	182	102	87	1,304	1,015	1,528	1,177		
その他の医療機関	国立		1	1							1	1			
	公立														
	公的												1	1	
	私的	病院		3	3							3	3	9	9
		診療所		3	3							3	3	4	3
計		7	7							7	7	14	13		
計	国立		2	2							2	2	2	2	
	公立		519	519	81	81	133	133	70	70	803	803	952	952	
	公的		261	79	52	21	102	41	25	10	440	151	480	139	
	私的	病院		41	41	7	7	8	8	7	7	63	63	94	94
		診療所		3	3							3	3	4	3
計		826	644	140	109	243	182	102	87	1,311	1,022	1,542	1,190		
その他の場所	接骨院等														
	その他														
	計														
令和2年計			826	644	140	109	243	182	102	87	1,311	1,022			
令和元年計			1,015	777	168	129	255	194	104	90			1,542	1,190	

救 助

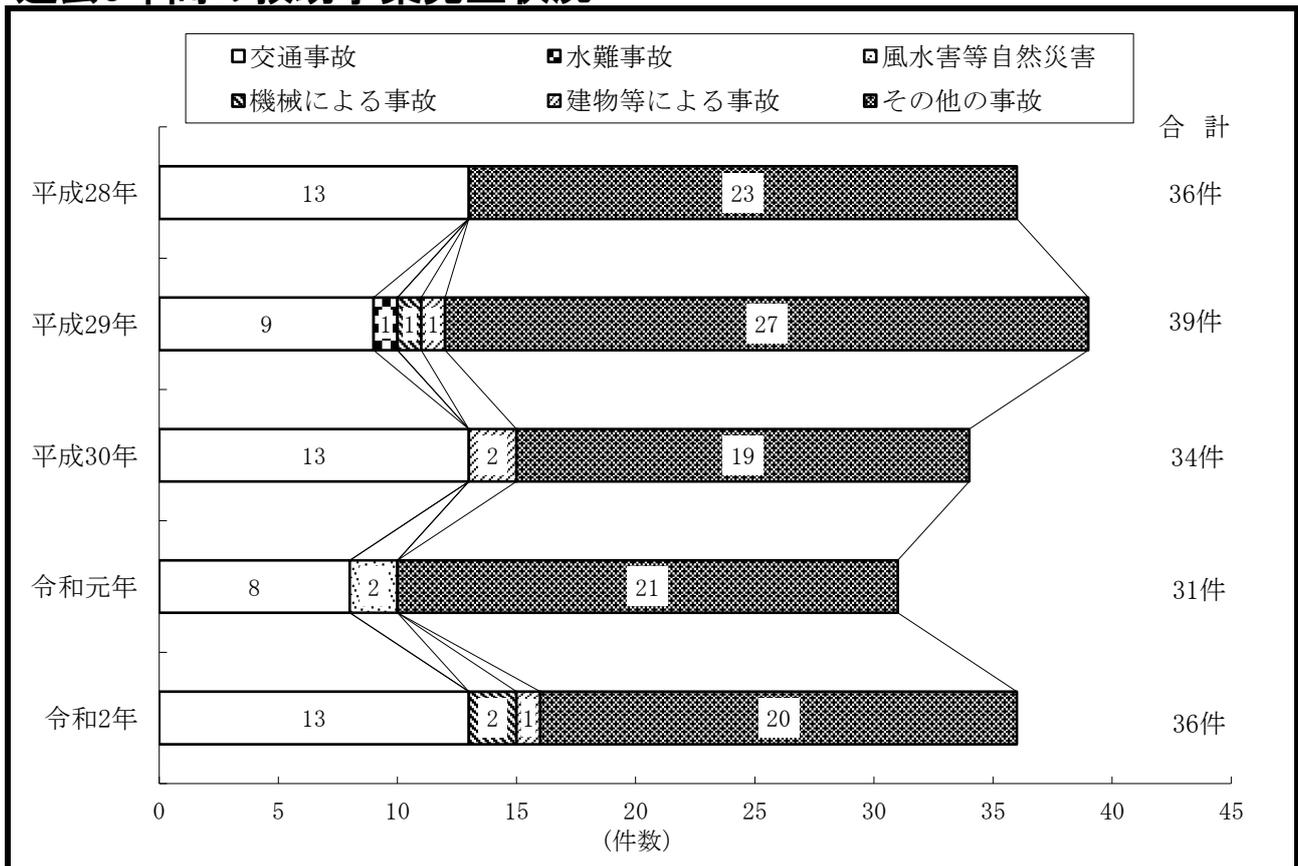
令和2年中の救助出動件数は36件、救助人員は26人でした。

救助件数を事故種別で見ると、その他の事故20件(うち山岳救助16件)が最も多く、交通事故が13件、機械による事故が2件、建物等による事故が1件となりました。

救助事案発生状況

区 別		年 別				
		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
全 国	救助出動件数	90,080	92,336	97,429	96,424	
	救助活動件数	57,148	56,315	61,507	61,340	
	救助人員	57,955	57,664	63,836	63,670	
三 重 県	救助出動件数	903	902	876	924	
	救助活動件数	552	560	582	606	
	救助人員	605	664	620	725	
菰 野 町	救助出動件数	36	39	34	31	36
	救助活動件数	25	23	25	22	25
	救助人員	30	24	31	24	26

過去5年間の救助事案発生状況



事故種別、救助出動件数・救助人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	令 2 合	和 年 計	令 元 合	和 年 計
	建 物	他												
出 動 件 数			13			2	1			20		36		31
救 助 人 員			8			3	1			14		26		24

※管轄外の出動件数含む

事故種別、救助出動人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	令 2 合	和 年 計	令 元 合	和 年 計
	建 物	他												
救 助 隊 員			48			8	4			91		151		128
消 防 隊 員			18									18		15
救 急 隊 員			51			6	3			27		87		69
合 計			117			14	7			118		256		212

事故種別、救助出動車両

種別 車両	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	令 2 合	和 年 計	令 元 合	和 年 計
	建 物	他												
救 助 工 作 車			13			2	1			4		20		16
タ ン ク 車														
ポ ン プ 車			6									6		5
救 急 車			17			2	1			9		29		23
指 揮 車														
広 報 車										16		16		15
資 機 材 搬 送 車										1		1		1
そ の 他 の 車 両										2		2		
合 計			36			4	2			32		74		60

※その他の車両とは、査察車と防災広報車

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
1	そ の 他 (山 岳)	1 月 11 日 (土) 14 時 08 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
2	交 通	2 月 9 日 (日) 21 時 34 分	朝 上 (田光)	報 知 電 話	
3	そ の 他	2 月 13 日 (木) 11 時 25 分	千 種 (岡)	報 知 電 話	
4	そ の 他 (山 岳)	3 月 29 日 (日) 16 時 05 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
5	交 通	4 月 11 日 (土) 9 時 25 分	竹 永 (竹成)	報 知 電 話	
6	そ の 他 (山 岳)	5 月 1 日 (金) 14 時 18 分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
7	交 通	5 月 12 日 (火) 12 時 45 分	菰 野 (菰野第三区)	報 知 電 話	
8	そ の 他 (山 岳)	5 月 17 日 (日) 12 時 43 分	朝 上 (田光)	加 入 電 話	
9	そ の 他	5 月 26 日 (火) 10 時 23 分	竹 永 (永井)	報 知 電 話	
10	交 通	6 月 6 日 (土) 11 時 49 分	千 種 (千草)	報 知 電 話	
11	交 通	6 月 18 日 (木) 15 時 49 分	千 種 (奥郷)	報 知 電 話	
12	建 物 等	7 月 21 日 (火) 12 時 19 分	菰 野 (大羽根園)	報 知 電 話	
13	交 通	8 月 7 日 (金) 10 時 46 分	千 種 (千草)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)

加 入 電 話 = 一般加入電話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	広報車	4	御在所岳裏道登山道で滑落し、左足を負傷した。	ヘリコプターによるピックアップが可能な場所まで搬送後、三重県防災航空隊が医療機関へ搬送した。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 3 3	軽四自動車の単独事故により車両が横転し、車内に閉じ込められている。	自力により車外へ出ていたため、救出活動は行わず、安全管理及び車両固定を行った。
	救助工作車 救急1号車	4 3	川で人が倒れている。	担架を使用し、徒手搬送で川から道路へ引き上げ救出した。
	広報車 積載車 救急1号車	4 3 3	新着滝橋の山中で約5m滑落し、左足を負傷した。	担架とロープを使用し、徒手搬送で道路まで引き上げ救出した。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 3 3	4tトラックと軽四自動車の衝突事故により、軽四自動車が横転し、車内に閉じ込められている。	救助の必要はなかったため、救急隊の活動支援を行い担架にて搬送した。
	広報車 救急2号車	4 3	御在所岳中道登山道を下山中に転倒し、右足を負傷した。	介添え搬送で登山口まで搬送した。
	救助工作車 救急2号車	4 3	10tトラックと軽四自動車の衝突事故により、軽四自動車内に閉じ込められている。	挟まれ等は無く、車両固定後、救急隊と協力し担架にて車外へ救出した。
	広報車	4	八風峠登山中に意識を無くして倒れた。	ヘリコプターによるピックアップ後、奈良県防災航空隊が医療機関へ搬送した。
	救助工作車 救急1号車	4 3	住人が体調不良により体を動かすことができず、施錠されたドアを開けられない。	はしごにてベランダから進入し、玄関を開錠後、担架にて救出した。
	救助工作車 救急2号車 救急3号車	2 3 3	普通乗用車と軽四自動車の衝突事故により、田んぼに転落。1台が横転し車内に閉じ込められている。	車両固定後、横転車両の上側になっているドアを人力にて開放し、介添えにて車外へ救出した。
	救助工作車 救急1号車 救急2号車	4 3 3	普通乗用車と軽四自動車の衝突事故により、1台が転覆し2名が車内に閉じ込められている。	車両の前部ドアを人力で開放し1名を救出、もう1名を担架を使用し後部窓から車外へ救出した。
	救助工作車 救急2号車	4 3	トイレのドアノブが破損し、ドアが開かず、外に出られない。	ドアの隙間から工具を使用し、ドアの開放を行い救出した。
	救助工作車 救急1号車	4 3	トラックと普通乗用車の衝突事故により、トラックが田圃に転落し、車内に閉じ込められている。	転落したトラックを固定し、損傷の無いドアを開放し、誘導にて車外へ救出した。

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
14	そ の 他	8 月 18 日 (火) 12 時 33 分	菰 野 (菰野第一区)	報 知 電 話	
15	そ の 他	8 月 23 日 (日) 11 時 21 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
16	交 通	8 月 26 日 (水) 17 時 41 分	鶯川原 (吉沢)	報 知 電 話	
17	交 通	8 月 28 日 (金) 7 時 14 分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
18	そ の 他 (山 岳)	9 月 5 日 (土) 15 時 38 分	千 種 (千草)	加 入 電 話	
19	交 通	9 月 8 日 (火) 14 時 56 分	千 種 (千草)	報 知 電 話	
20	そ の 他 (山 岳)	9 月 19 日 (土) 11 時 58 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
21	そ の 他 (山 岳)	10 月 6 日 (火) 11 時 12 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
22	交 通	10 月 22 日 (木) 11 時 00 分	鶯川原 (大強原)	報 知 電 話	
23	機 械	10 月 23 日 (金) 16 時 37 分	千 種 (岡)	報 知 電 話	
24	交 通	10 月 24 日 (土) 10 時 45 分	鶯川原 (大強原)	報 知 電 話	
25	そ の 他 (山 岳)	10 月 25 日 (日) 11 時 39 分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
26	そ の 他 (山 岳)	10 月 30 日 (金) 12 時 22 分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)

加 入 電 話 = 一般加入電話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	救助工作車 救急1号車	4 3	地上10mの遊具の上で気分不良になり、動けなくなった。	施設関係者により救出済みであったため、救急隊の活動支援を行った。
	救助工作車 救急1号車	4 3	自転車で行進中に転倒し、右足が側溝のブロックの隙間に挟まって動けなくなった。	救急隊により救出済みであったため、安全管理及び車両誘導を行った。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 3 3	軽四自動車による単独自損事故により車両が横転し、車内に閉じ込められている。	すでに車外へ出ており、救出活動は行わず、漏油確認、情報収集及び救急隊の活動支援を行った。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 3 3	4tトラックが横転し、車内に閉じ込められている。	ガラスカッターと油圧資器材を使用して、スペースを作り車外へ救出した。
	広報車 救急1号車	4 3	中峠下山中に虫に刺され動けなくなった。	自力歩行可能であり、介添え搬送にて登山口まで搬送した。
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 3 3	軽四自動車同士の衝突事故により両車両が横転し、1台の車内に閉じ込められている。	車両フロントガラスを切断資器材を使用し開放後、誘導し車外へ救出した。
	広報車	4	御在所岳裏道登山道を登山中、橋から転落し頭部を負傷した。	ヘリコプターによるピックアップ可能な場所まで搬送後、滋賀県防災航空隊が医療機関へ搬送した。
	広報車	4	御在所岳前尾根にてロッククライミング中に1名が滑落し、2名が負傷した。	2名とも三重県防災航空隊がヘリコプターによるピックアップ後、医療機関へ搬送した。
	救助工作車 救急3号車	3 3	普通乗用車と軽四自動車の衝突事故により、軽四自動車が横転し、車内に閉じ込められている。	すでに車外に救出されていたため、車両の固定、火災警戒対応を実施し、救急隊の活動支援を行った。
	救助工作車 救急2号車	4 3	カーキャリアの後部あたりと、積まれていたトラクターの間に挟まれた。	可搬式ウインチを使用し、トラクターを引き揚げた後、カーキャリア後部あたり部を倒し救出した。
	救助工作車 救急2号車	4 3	普通乗用車と軽四自動車の衝突事故により、車内で挟まれ閉じ込められている。	挟まれておらず、救助の必要はなかったため、救急隊の活動支援を行った。
	広報車	4	御在所岳中道登山にて小児の行方がわからないとのことで、事故の可能性を考慮。	協力者と共に下山完了しており、救助の必要はなかったため、情報収集後、警察に引き継いだ。
	広報車 防災広報車 救急2号車	4 4 3	御在所岳前尾根にてロッククライミング中に約3m落下し右足を負傷した。	背負い資器材にて小屋まで搬送し、救出した。

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
27	その他 (山岳)	10月31日(土)16時00分	菰野 (湯の山)	報知電話	
28	その他 (山岳)	11月1日(日)13時31分	菰野 (湯の山)	報知電話	
29	交通	11月3日(火)10時43分	菰野 (神森)	報知電話	
30	その他 (山岳)	11月15日(日)10時35分	菰野 (湯の山)	報知電話	
31	その他 (山岳)	11月17日(火)17時34分	朝上 (田光)	報知電話	
32	機 械	11月21日(土)8時57分	千種 (江野)	報知電話	
33	その他 (山岳)	11月29日(日)12時25分	菰野 (湯の山)	報知電話	
34	その他 (山岳)	12月5日(土)10時57分	菰野 (湯の山)	報知電話	
35	その他 (山岳)	12月19日(土)16時44分	菰野 (湯の山)	報知電話	
36	交通	12月20日(日)11時39分	千種 (潤田)	報知電話	

※ 報知電話 = 119番 (携帯電話等含む)
 加入電話 = 一般加入電話

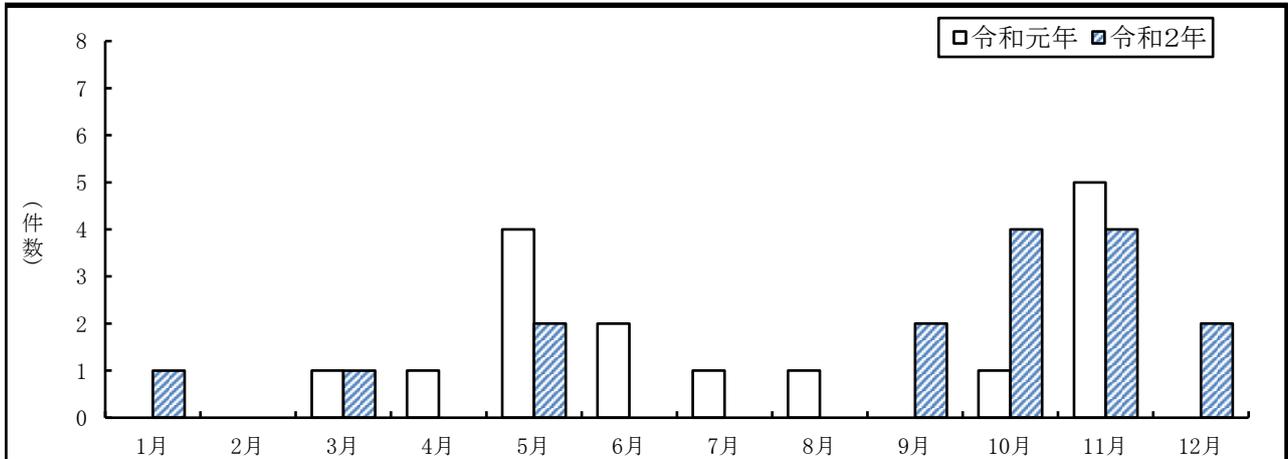
	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	広報車	4	御在所岳裏道登山道で道迷い者を発見したが、体力を消耗し動けない。	三重県防災航空隊の活動補助及び周囲の安全管理を実施し、ヘリコプターによるピックアップ後、伊勢湾ヘリポートへ搬送した。
	広報車	4	御在所岳一ノ谷新道を下山中に足を滑らせ、高さ約5m滑落し、前額部及び腹部を負傷した。	三重県防災航空隊の活動補助及び周囲の安全管理を実施し、ヘリコプターによるピックアップ後、医療機関へ搬送した。
	救助工作車 ポンプ車 救急2号車 救急3号車	4 2 3 3	ワンボックス車と普通乗用車の衝突事故により、ワンボックス車の運転手の足が挟まれ車外にでられない。	車両固定後、油圧資器材によりドアの開放及び挟まれ部分の開放を行い、車外へ救出した。
	広報車	4	御在所岳中道登山中、体調が悪くなり一時的に意識を失った。	介添え搬送にて登山口まで搬送した。
	広報車 防災広報車 救急2号車	4 4 3	三池岳下山中に約20m滑落した。	担架を使用し、登山口まで搬送し、救出した。
	救助工作車 救急1号車	4 3	強風によりゴンドラが停止。2名が閉じ込められた。	ゴンドラの手動装置を使用し、上側へ引揚げ、救出した。
	広報車	4	御在所岳中道登山中に懸垂降下した際、アンカーが崩れ、約10m落下し、左足及び腰部を痛めた。	ヘリコプターによるピックアップ可能な位置まで搬送後、三重県防災航空隊が医療機関へ搬送した。
	広報車	4	御在所岳中尾根にてロッククライミング中に足を踏み外し、2m滑落し、後頭部を負傷した。	ヘリコプターによるピックアップ後、三重県防災航空隊が医療機関へ搬送した。
	広報車	4	御在所岳裏道登山道を登山中、小児が衰弱して動けなくなった。	介添え搬送にて山頂まで搬送し、その後、ロープウェイにて下山した。
	救助工作車 救急1号車 救急2号車	3 3 3	軽四自動車同士の衝突事故。1台が横転、もう1台がガードレールに衝突している。	すでに車外へ出ており、救助の必要はなかったため、漏油確認、安全管理及び救急隊の活動支援を行った。

山岳救助

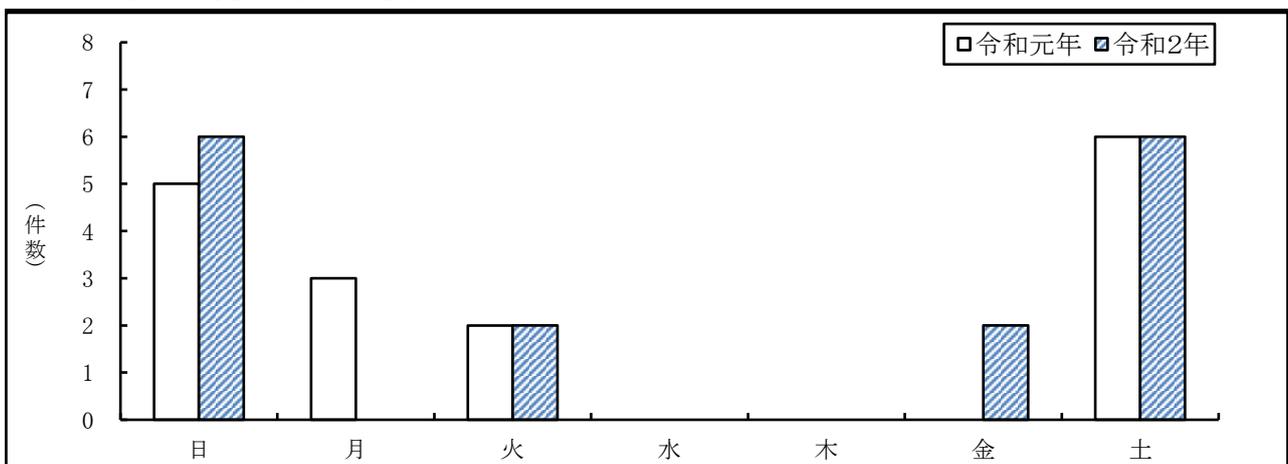
当町は面積の約3分の1が山岳地帯で多数の登山者が入山することから年間を通して山岳救助事案が多く発生しています。

山岳救助事案の半数が三重県防災航空隊の防災ヘリコプターと連携し救助活動を行います。山岳救助の出動から救助完了までの平均活動時間は2時間12分であり、最長活動時間は4時間50分を要しました。

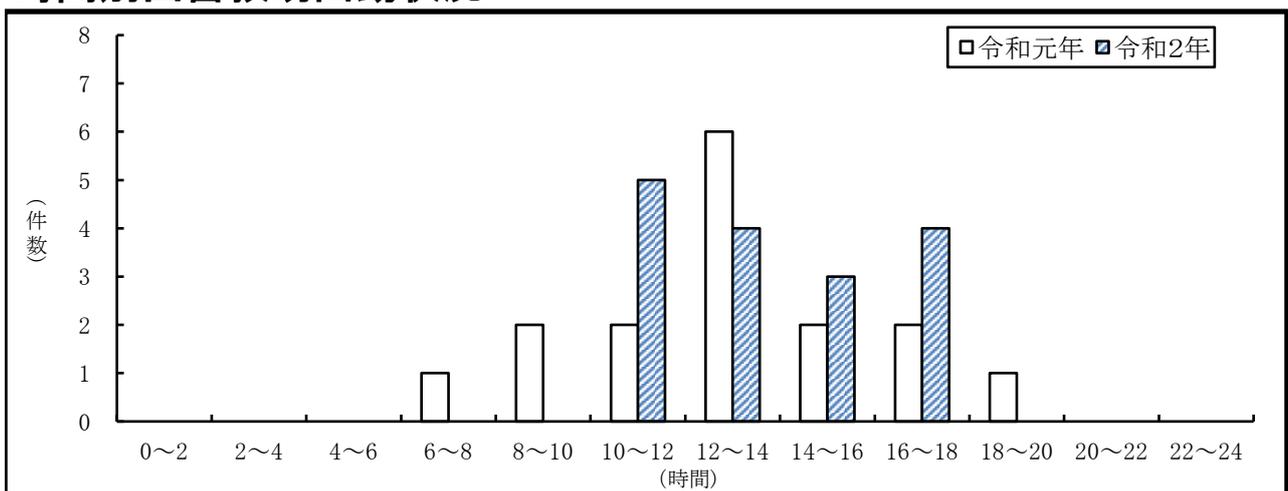
月別山岳救助出動状況



曜日別山岳救助出動状況



時間別山岳救助出動状況



気象、通信、その他



昨今の新型コロナウイルス感染症の影響によって訓練や行事の中止を余儀なくされました。消防団員として基本的な技能を身に付けるため、感染対策を施し消防団新規入団員の訓練を実施しました。

消防団新規入団員研修

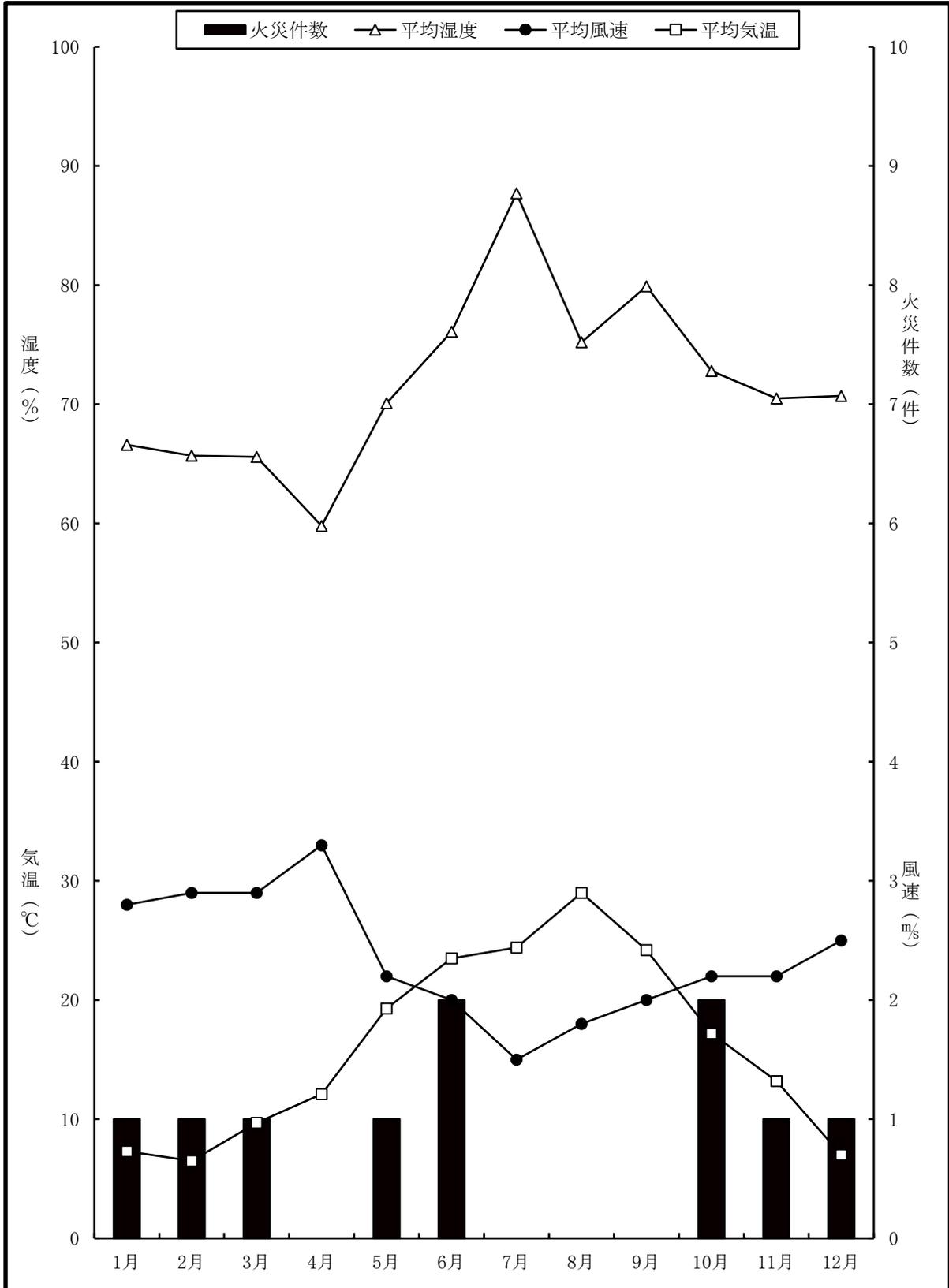
令和2年6月28日

於：菰野町消防本部

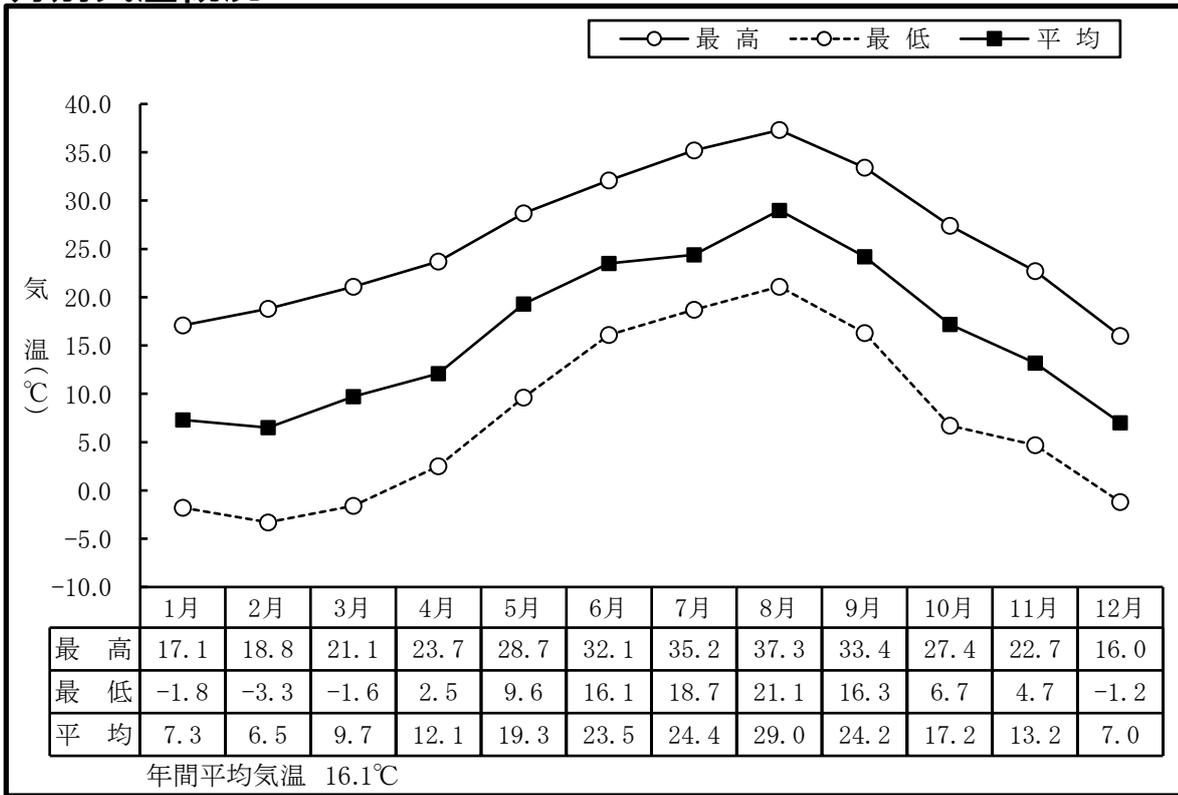
気象

気象観測システムによる自動定時観測（風速、気温、湿度、降水量等）を行っています。また台風、豪雨や警報発表時には定時以外においても必要に応じた観測体制をとっています。

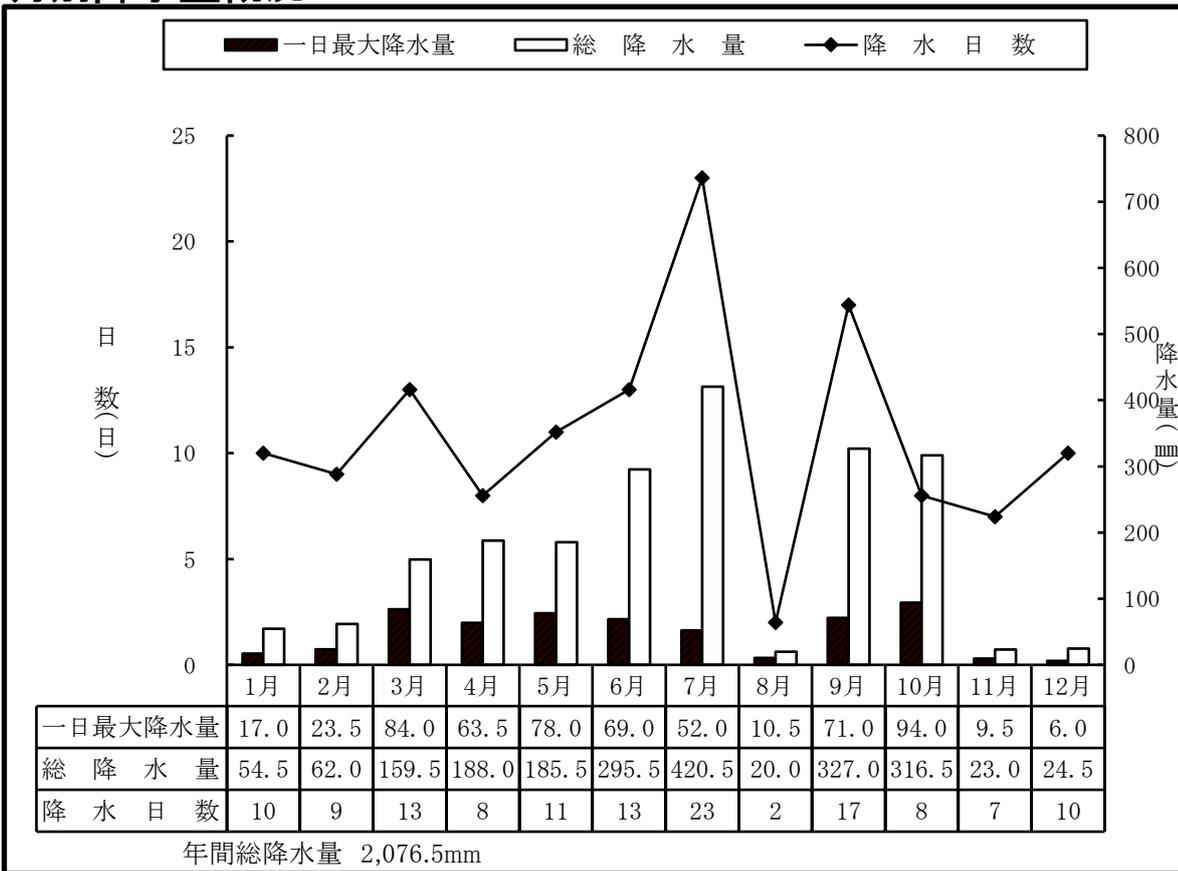
月別気象状況と火災件数



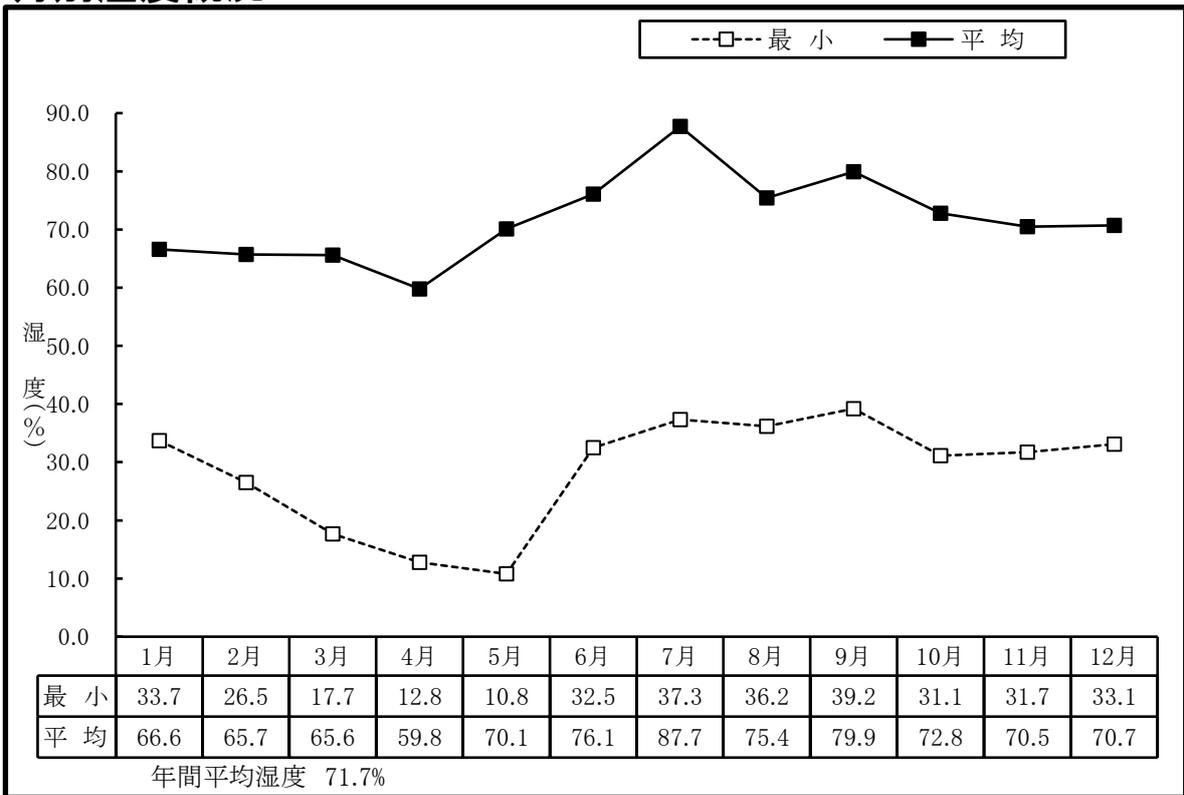
月別気温概況



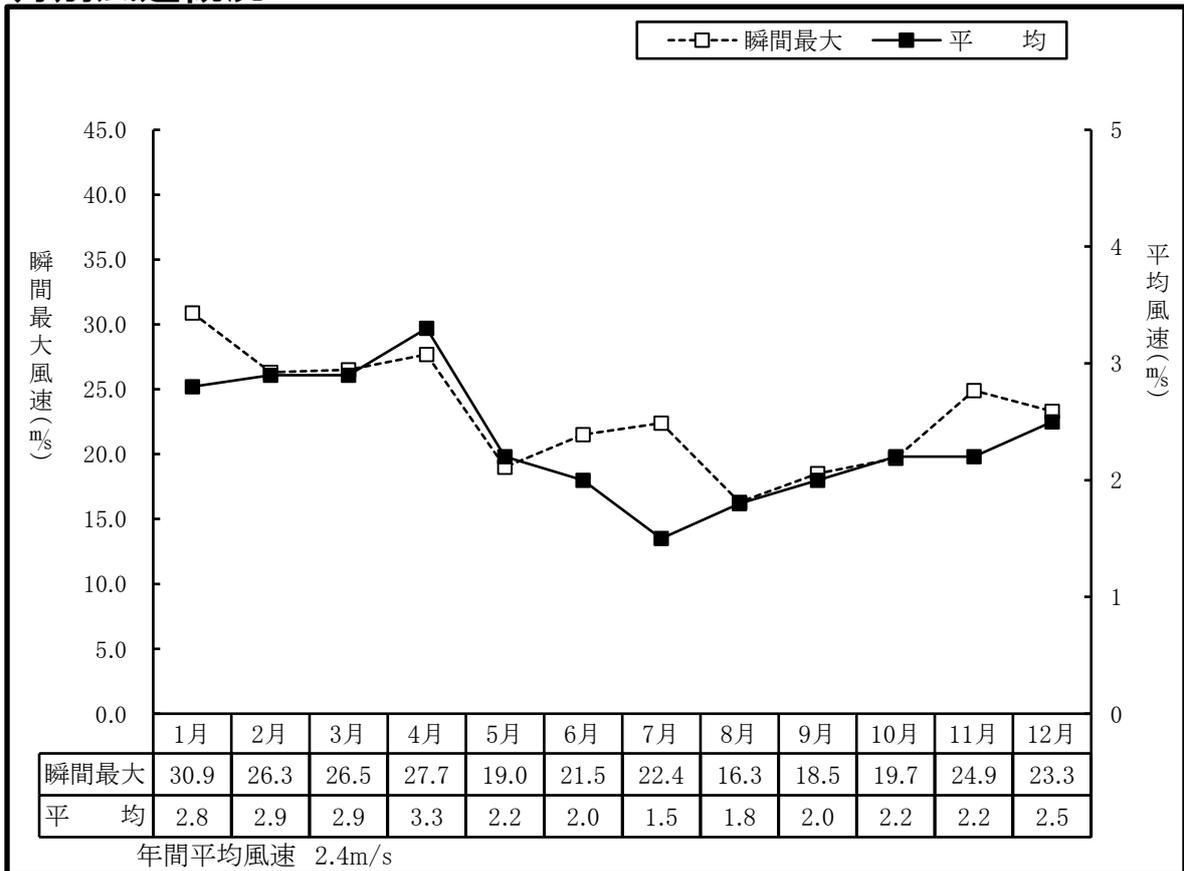
月別降水量概況



月別湿度概況



月別風速概況



気象通報受信状況

気象通報		月 別												合計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
特別警報	暴風特別警報														
	暴風雪特別警報														
	大雨特別警報														
	大雪特別警報														
警報	暴風警報														
	暴風雪警報														
	大雨警報								1		3	1			5
	大雪警報														
	洪水警報														
注意報	風雪注意報													1	1
	強風注意報	2		2	2									2	8
	大雨注意報			1	1	1	3	6		9	3				24
	大雪注意報												3		3
	洪水注意報									1					1
	着雪注意報														
	乾燥注意報		1	3	1										5
	濃霧注意報	2	2	2		6	1	2	1		1	1			18
	霜注意報			13	10										23
	なだれ注意報														
	融雪注意報														
	低温注意報		2												2
	着氷注意報														
	雷注意報	2	1	3	7	4	7	10	17	6	2	2			61
竜巻注意情報				1			2	1	2					6	
高温注意情報						1	1	26	1					29	
火災気象通報				10	16	1					1		4	32	
三重県気象情報	雷と突風に関する情報	1				5	3	3		3		6		21	
	雷と突風及び降ひょうに関する情報			4	1		2		6					13	
	雷に関する情報		1									1		2	
	大雪に関する情報		1									16		17	
	高波と強風に関する情報	1												1	
	高波と強風及び雷に関する情報	1												1	
	高波と大雨及び強風に関する情報	1												1	
	高波と大雨及び雷に関する情報	1												1	
	大雨と雷及び突風に関する情報				5	1	2	34	1	24				67	
	大雨と高波及び強風に関する情報				4									4	
	大雨と暴風及び高波に関する情報				1									1	
	大雨に関する情報				3		4	4	6		2			19	
	台風第10号に関する情報									11				11	
台風第12号に関する情報									4				4		
台風第14号に関する情報										9			9		
記録的短時間大雨情報															
土砂災害警戒情報															

注1) 同一種類の警報・注意報を継続する場合に発表された警報・注意報は回数に含めない。
 注2) 竜巻注意情報は、三重県北中部を対象に発表された一連の情報を1回と数えた回数を示す。
 注3) 火災気象通報は、三重県北部を対象に発表された回数を示す。
 注4) 土砂災害警戒情報は、菟野町に発表された一連の情報を1回と数えた回数を示す。

通信指令

菰野町と四日市市、桑名市の3消防本部は、平成28年4月1日から 四日市市、桑名市及び三重郡菰野町消防通信指令事務協議会を設置して、四日市市消防本部中消防署中央分署内に三重北消防指令センターを整備し、消防通信指令事務の共同運用を行っています。

三重北消防指令センター119番通報受付取扱状況

種別 消防本部	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	合計
菰野町	26	1,320 (1)	25	13	0	189	159	159	10	1,901 (1)
四日市市	161	13,160 【1】	81	229	38	2,062 【1】	1,375	1,348	124	18,578 【2】
桑名市	205	8,204 (1)	55	144	19	1,252	789	809	77	11,554 (1)
合計	392	22,684 【1】(2)	161	386	57	3,503 【1】	2,323	2,316	211	32,033 【2】(2)

※【 】はFAX119、()はNet119 それぞれ内数。

通報は重複通報含む。

菰野町消防本部管内月別119番通報受付取扱状況

種別 月	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	合計
1	2	128		2		10	3	15	1	161
2	3	111		1		14	30	6	1	166
3	4	89	1			19	20	15		148
4		94	1	2		15	7	15		134
5	1	89	3	1		15	12	14	1	136
6	4	108		1		21	13	9		156
7		106	1	1		18	11	11	3	151
8	2	146	4	1		19	7	23	2	204
9		102 (1)	1	2		11	15	14	2	148 (1)
10	5	123	5	1		14	17	15		180
11	4	114	8			22	18	10		176
12	1	109	1	1		11	6	12		141
合計	26	1,320 (1)	25	13	0	189	159	159	10	1,901 (1)

※【 】はFAX119、()はNet119 それぞれ内数。

通報は重複通報含む。

菰野町消防本部管内回線別119番通報受付取扱状況

種別 回線	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	合計
119	固定	1	222	2	2	27	124	18	2	398
	I P	4	434	1	1	23	22	32		517
	携帯	21	663	22	10	139	13	109	8	985
	FAX									0
Net119		1								1
合計	26	1,320	25	13	0	189	159	159	10	1,901

通報は重複通報含む。

災害件数の推移

年	区分	火災（件）	救急（件）	救助（件）	人口（人）
昭和 60 年		11	308	3	31,099
昭和 61 年		23	442	3	31,546
昭和 62 年		15	434	7	31,949
昭和 63 年		15	497	9	32,218
平成 元年		13	569	12	32,443
平成 2 年		9	595	6	32,942
平成 3 年		17	573	6	33,504
平成 4 年		13	558	8	33,902
平成 5 年		6	641	10	34,362
平成 6 年		15	684	10	35,137
平成 7 年		23	694	17	36,036
平成 8 年		30	779	11	36,801
平成 9 年		36	684	12	37,402
平成 10 年		18	705	19	37,785
平成 11 年		21	746	16	38,229
平成 12 年		18	895	23	38,713
平成 13 年		25	995	19	38,939
平成 14 年		21	1,018	9	39,074
平成 15 年		23	1,096	28	39,155
平成 16 年		12	1,091	29	39,494
平成 17 年		23	1,195	33	39,989
平成 18 年		20	1,187	21	40,274
平成 19 年		21	1,248	21	40,550
平成 20 年		19	1,266	23	40,784
平成 21 年		16	1,208	25	40,977
平成 22 年		15	1,242	32	41,025
平成 23 年		9	1,360	22	41,171
平成 24 年		17	1,396	24	41,311
平成 25 年		22	1,473	17	41,329
平成 26 年		19	1,451	19	41,419
平成 27 年		12	1,433	32	41,540
平成 28 年		14	1,452	36	41,803
平成 29 年		20	1,480	39	41,820
平成 30 年		13	1,607	34	41,738
令和 元年		8	1,598	31	41,610
令和 2 年		10	1,349	36	41,670

※昭和60年の災害件数は消防本部発足（4月1日）からの数値

※人口は年度末の数値

令和3年版
消 防 年 報

発 行 日 令和3年8月

編集・発行 菰野町消防本部

〒510-1253

三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地

電 話 (059) 394-3211

F A X (059) 394-5766

E-mail komonofd@m3.cty-net.ne.jp